朝鮮社会科学者協会

通　報



2

2023

目　次

懇談会

チュチェ思想研究組織の活動消息

実話

人間はもっとも貴くて強力な存在である

いつか偉大な金日成主席はある国の新聞社の記者団を接見した。

主席は、あなたがたがチュチエ思想が生まれた経緯についていってくれるよう要請したが、チュチェ思想とは、一口にいって、革命と建設の主人は人民大衆であり、革命と建設をおし進める力もまた人民大衆にあるという思想である、いいかえれば、自己の運命の主人は自分自身であり、自己の運命を切り開く力も自分自身にあるという思想であると教えながらその経緯を理路整然と、よく理解できるように解説してくださった。

つづけて、わが党がチュチェ思想の要求から出発して青少年の教育問題に大きな関心を払っている、それは社会の発展において人間の教育より重要なことはないからであると強調した主席は、人間があらゆるものの主人であり、すべてを決定する、というのがチュチェ思想の基礎である、世のなかでもっとも貴いものは人間であり、もっとも強力な存在も人間であると教えた。

朝鮮解放の歴史的意義

偉大な金日成主席は自主的な革命路線と卓越した指導で祖国解放の歴史的偉業を成し遂げ、民族解放闘争の世界史的な模範を創造した。

朝鮮解放は朝鮮民族の尊厳と自主権を取り戻し、自主独立国家建設の活路を開く一大慶事であり、植民地民族解放革命の新時代を開拓し、世界の平和守護に貢献した歴史的出来事であった。

朝鮮が解放されることにより、朝鮮人民は、植民地奴隷のくびきから抜け出して新しい朝鮮の堂々たる主人となり、自主の道にそって力強く前進する新たな歴史的段階に入るようになった。

主席の指導の下に朝鮮の革命家たちが繰り広げた抗日革命闘争は、植民地諸国の人民が民族解放闘争において提起されるすべての問題を自国の実情に即して自主的に、創造的に解決していく新しい時代を切り開いた。

抗日大戦の勝利は、日本帝国主義の危険千万な侵略野望を決定的に粉砕し、第 2 次世界大戦を世界反ファッショ民主勢力の勝利としてピリオドを打ち、惑星に自由と平和の気流がながれるようにする上で大きな貢献をした世界史的出来事として今日も世人の脚光を浴びている。

革命的党建設の重大な問題

偉大な金正日総書記は革命的党建設において思想と指導の唯一性、継承性の保障が領袖の党の革命的本態を固守し、輝かせる上で基本となるという哲理を歴史のページに深く刻みつけた。

総書記は非凡な科学的洞察力で現代修正主義者の反革命的策動の本質を鋭く見抜き、不眠不休の思想・理論活動によって従来の理論が提起しなかった領袖の唯一的指導問題、領袖の継承者問題に関する新たな思想を提示した。総書記は不朽の古典的労作を相次いで発表し、労働者階級の領袖が革命闘争における地位と役割を新しく示し、労働者階級の領袖は単なる個人ではなく、人民大衆の要求と意思の最高体現者、脳髄であり、領袖は人民大衆を指導することにより、革命闘争で決定的な役割を果たすという独創的な思想を打ち出した。

総書記は 1970 年代に金日成主席の革命思想を金日成主義と正式化し、全社会の金日成主義化を朝鮮労働党の最高綱領に宣布し、領袖の思想と指導を代を継いで輝かしく継承していける磐石の礎を築いたことによって、革命的原則を確固と固守し、社会主義建設を勝利的に前進させるうえで提起される貴重な指針を明らかにした。

総書記は世界各国で社会主義の挫折を奇貨とし、社会主義の「終焉」を喧伝し、社会主義、反帝・自主を志向する国々に対する侵略と内政干渉を前例なく強化する時にもチュチェ 81(1992)年 1 月 3 日、不朽の古典的著作「社会主義建設の歴史的教訓とわが党の総路線」、同年 10 月 10 日には不朽の古典的著作「革命的党建設の根本問題について」をはじめ、「社会主義に対する誹謗は許されない」「社会主義は科学である」など、相次いで著作を発表し、社会主義建設に

おいて革命的党の指導的役割とチュチェの革命的党建設の基本原則、社会主義の科学性と正当性、その勝利の必然性などを鉄の論理で明らかにした。

創造の奇跡をもたらしたアピール

思想重視を革命と建設の一時的な戦術的方策ではなく、戦略的で恒久的な闘争の武器として打ち出す金正恩総書記の賢明な指導があって、朝鮮人民の精神力は日増しにより高く発揮され、闘争と変革の強力な力となっている。

チュチェ 102(2013)年 5 月のある日、総書記は人民軍が新しく建設している馬息嶺スキー場を訪ねた。

軍人の建設者たちは、他人が 10 年も掛かるという膨大な工事をただ 1 年余りの間に完工するという燃えるような熱意をもって不屈の精神力を発揮して日々に奇跡と革新を創造していた。

総書記は馬息嶺スキー場の建設場で燃え上がったこの革新の熱風を全国に巻き起こすという遠大な構想を示した。

そして数日後、全国の人民を奇跡と革新へと呼び起こす総書記のアピールが発表された。

アピールには全人民が馬息嶺スキー場の建設場で高く発揮されている軍人建設者たちの闘争精神、闘争気風をもって社会主義建設のすべての部門で大飛躍、大革新を起こしていくことを望む総書記の崇高な意図が一句一句熱く脈打っている。

総書記の歴史的なアピールは、社会主義強国建設のすべての分野で世人を驚嘆させる奇跡を多発的に、連発的に創造するようにした。

朝鮮労働党中央委員会第８期第８回総会の基本精神

朝鮮労働党中央委員会第８期第８回総会の基本精神は、主動的で攻勢的な闘争によって強大な共和国の尊厳と地位をさらに強化し、社会主義建設の各方面で活気付いた発展局面を非常に発展させようということである。

朝鮮人民は党中央委員会第８期第８回総会の精神を体し、党の決定をもっとも徹底的に、完璧に執行して、チュチェ 112（2023）年を共和国の歴史に誇り高く記される偉大な転換の年、変革の年として輝かせていくために力強い闘争を繰り広げている。

朝鮮労働党中央委員会第８期第８回総会で提起された教育部門の課題

朝鮮労働党中央委員会第８期第８回総会は教育を発展する世界的趨勢と時代の要求に合わせて高い知的、実践能力を備えた有能な人材を多く育成するという課題を教育部門に示した。

総会は何よりもまず、国の教育構造を先進教育を与えられるように直す事業を積極的に推進するという課題を示した。

かつて、教育部門では党の指導の下に教育システムを完備し、新たな教授管理制度を導入することをはじめ、教育構造を改善するための事業を活発に推進してきた。

今回の総会はこれまでの経験を積極的に生かし、発展する現実と世界の教育発展趨勢に即して先進教育を与えられるように教育構造を直すためのさまざまな措置を講じるようにした。

まず、初等および中等教育部門の教育構造を一般基礎知識教育を基本にしながら学生たちの天性と素質に応じる教育ができるように直すための決定的な対策を講じるようにした。

これは中等教育段階ですべての学生が一つ以上の技術・技能を所有するようにし、誰もが社会の発展に寄与できるようにするための積極的な措置となる。

また、人材の類型を正しく定め、それに合わせて高等教育機関を合理的に構成することに重点をおいて大学、学部、学科の配置構造を直し、博士院の教育構造、教授管理構造、大学入学生の選抜制度など、高等教育の構造を直す、革新的な措置も講じるようにした。

総会は次に、学生たちが多方面的で深い知識と実践能力を所有できるように教育内容を改善し、学生たちが主動的な学習者、探求者

となって生きた知識と実践能力を取得するように教育方法の改善を積極的に推進するための具体的な課題を示した。

　総会はこの他にも教員陣営を強化し、教員を優遇し、教育条件と環境を改善する事業を引き続き推進するという課題も示した。

再度強調された問題

朝鮮労働党中央委員会第 8 期第 8 回総会で再度重要に強調された問題がある。それは国の科学技術発展の先兵、主力部隊である科学者、技術者を革命的で愛国的な科学者、技術者としてしっかり準備させることである。

すでに多くの会議でこの問題を強調した朝鮮労働党がどうしてこの総会で再度強調したのか。

答えに先立って、いつか著名な科学者が残した話を想起してみよう。

ビナロンを研究完成したその科学者は後日、次世代がビナロンの来歴を聞いてみれば、ある科学者や技術者の名ではなく、労働党の歴史を話してやれと言ったという。労働党がなければ、祖国も、科学の真の発展もなく科学者の人間的価値や名誉もないというのが彼の吐露であった。

朝鮮の歴史を遡って見ると、朝鮮労働党の記憶の中に永生している前世代の科学者はみんな技術を知る前に党の意図、国と人民の要求を先に知っている革命家、愛国者であった。

彼らの輝かしい生は国の富強・発展に実際に役立てる立派な研究成果を出すか、否かが科学者、技術者の実力の問題である前に党にたいする忠実性と革命的信念、愛国心にかかっているということを実証してくれた。

国の教育発展を頼もしく保証する
教育科学研究の中心基地

朝鮮労働党中央委員会総会の決定に従って 、教育を改善するための闘争が力強く繰り広げられる中、チュチェ 112（2023）年 8 月 16 日、教育研究院が近代的に建設されて竣工した。

研究院には高等教育研究所、普通教育研究所などと教育科学研究成果展示場、文化厚生施設が立派に構築されている。

教育研究院が国の教育科学を専門に研究し、統一的に掌握し指導する中央教育科学研究機関、教育政策諮問機関らしく立派に築かれたことにより、新世紀の教育革命の遂行に真に寄与する教育科学研究中心基地としての使命と任務を円満に遂行するようになった。







研究型大学の建設は重要な教育政策

朝鮮労働党中央委員会第８期第８回総会では重要大学を世界的な水準の研究型大学に発展させることについて再度強調した。

研究型大学は、学術水準が最も高く、人材養成の見地からは総合型、創造型の人材育成を、科学研究の見地からは基礎科学理論と新しい技術の創造を基本にする。

科学技術上の重要な成果の大部分が研究型大学で収められていることにより、こうした大学は科学教育と技術創造の中心、国力を評価する主な尺度の一つとなっている。

朝鮮労働党は世界的な教育発展趨勢と現実的要求から出発して研究型大学の建設を教育部門の重要課題として示し、その実現のための活動に深い関心を払っている。

大学を研究型大学に発展させていくことは高等教育機関を人材養成の原種場、頼もしい科学研究基地、社会経済発展の中心基地としての使命を果たすようにするための重要な方途となる。

研究型大学の建設に関する朝鮮労働党の教育政策は、重要大学でまず、土台があって水準の高い学部、学科を世界的に覇権を争える一流の学部、学科につくり、追いつけ追い越せ・見習い運動を積極的に繰り広げてその隊伍を増やしていくことである。そしてその経験を他の大学に一般化しながら研究型大学の建設を積極的に早めることである。

朝鮮労働党の教育政策に基づいて研究型大学、一流級学科建設を早めるためにはまず、研究型大学の基準、一流級学科の基準を正しく定め、世界の教育発展趨勢に即して科学的に、合理的に行うべきである。

また、教育構造を教授主導型から研究基本型に切り替え、先進的な人材養成システムを確立しなければならない。

ここで基本は実力のある優秀な科学者、教育者の陣容である。言い換えれば、科学者、教育者の陣容を中心に教育構造を改善していかなければならないということである。

教育構造を革新するために講座を研究所に転換させたといって研究型の大学、一流級学科の建設がスムーズに推進されるのではない。

特出した実力をもった人材が専攻分野の研究室を設け、彼らが科学研究と人材育成活動を導いていくようにし、新たな学科を多く開拓し、研究水準とともに教育水準も高い段階へと引き上げるべきである。

研究型大学は博士院教育を重視する大学であるため、博士院の教育構造を改造し、博士院教育を通じて優秀な実力をもった人材を育成すべきである。

そして教育構造の革新に合わせて教育内容と教育方法も追いつかせながら大学を先端科学研究の中心基地、国際学術交流の拠点に作り、実験実習の土台など、教育条件と環境も最上の水準で完備することに引き続き力を入れなければならない。

主体的化学工業の発展に寄与する大事な財宝

朝鮮労働党第8回大会と党中央委員会の総会の決定を体し、意義深い今年を勝利的に結束するための全人民的な総進軍が加速化する中、自立的な炭酸ソーダ工業の創設で重要な意義をもつ12月5日青年鉱山結晶芒硝の生産工程の建設が完工された。

国の化学工業を国内の原料に依拠するチュチェ工業として確固と転換させるという党政策の貫徹に奮い立った建設者、科学者、技術者、鉱山の労働者階級は、忠誠と愛国の力と情熱を噴出させて結晶芒硝の生産工程を立派に建設することにより、化学工業発展の土台を一層強化し、経済全般の上昇局面に活力を注いだ。

結晶芒硝の生産工程が完工されることにより、無尽蔵なグラウバー石を利用して人民経済の各部門に切実に要求される炭酸ソーダをはじめとした基礎化学製品の自給率を高めうる展望が開かれるようになった。

偉大な金日成主席の祖国解放業績を深く研究体得するための社会科学部門の研究討論会が行われる

祖国解放 78 周年を迎えて偉大な金日成主席が積み上げた祖国解放業績を深く研究体得するための社会科学部門の研究討論会がチュチェ 112(2023)年 8 月 14 日、人民大学習堂で行われた。

科学、教育部門、党活動家養成機関、革命事跡部門の教員、研究者、幹部たちが参加した討論会には抗日の血戦万里を乗り越えて祖国の解放をもたらした金日成主席の不滅の業績についての討論があった。

討論者たちは金日成主席は自主的な革命路線と卓越した指導で祖国解放の歴史的偉業を成し遂げた不世出の偉人であることについて解説した。

討論者たちは金日成主席は不滅のチュチェ思想を創始して朝鮮人民に透徹した民族自主の精神と必勝の信念を与え、銃剣はすなわち民族の生命であり、革命の勝利であるという哲理を明らかにし、日本帝国主義に反対する武装闘争を組織展開した卓越した思想理論家、希世の総帥であると言った。

抗日武装闘争路線と反日民族統一戦線路線、祖国光復会 10 大綱領と祖国解放 3 大路線など、古今東西のどの書籍や理論でも見出せない独創的な路線と方針のすべては、主席のゆるぎない自主的信念と意志、不眠不休の思索と探求の貴い結晶体であったと彼らは強調した。

続けて、主席が強化した強力な主体的な革命力量は全般的朝鮮革命を絶え間ない高揚へと推し進めるようにした原動力であり、

抗日の日々に一貫して堅持した民族自主、自力独立の革命的原則と立場は祖国解放の歴史的偉業を成し遂げるようにした根本保証となったと明らかにした。

人類史には国と民族のために貢献した知名の政治家と偉人が多々記されているが、主席のように国家的後方や正規軍の支援もないきびしい環境の中で事大と教条を断固排撃し、民族解放闘争の世界史的模範を創造した希世の愛国者、伝説的英雄はいまだかつてなかったと彼らは強調した。

討論者たちは祖国解放は朝鮮民族の尊厳と自主権を取り戻し、自主独立国家建設の活路を切り開いた一大慶事であり、植民地民族解放革命の新時代を開拓し、世界の平和守護に貢献した歴史的出来事であることについて論証した。

討論者たちは、祖国が解放されることによって朝鮮人民は植民地奴隷のくびきを脱し、新しい朝鮮の堂々たる主人になって自主の道に沿って力強く前進する新しい歴史的段階に入るようになったと言った。

主席の指導の下に朝鮮の革命家たちが繰り広げた抗日革命闘争は植民地国の人民が民族解放闘争において提起されるすべての問題を自国の実情に即して自主的に、創造的に解決していく新しい時代を切り開いたと彼らは強調した。

彼らは、抗日大戦の勝利は日本帝国主義の危険極まりない侵略野望を決定的に粉砕することにより、第2次世界大戦を世界反ファッショ民主勢力の勝利に終結し、惑星に自由と平和の気流が流れるようにする上で大きな貢献をした世界史的な出来事として今日も世人の脚光を浴びていると言及した。

祖国と人民の運命を一身に担い、祖国の解放のための闘争の陣頭に決然と立って歴史舞台で光を失っていた朝鮮民族に再生の曙光を照らした主席の不滅の業績はチュチェ朝鮮の勝利的前進とともに末永く輝くだろうと彼らは強調した。

討論者たちは抗日戦争の炎の中で創造された白頭の革命伝統はチュチェ朝鮮の永遠の勝利を保証する万年の財宝であることについて解説した。

帝国主義の強権と専横が乱舞する今日の世界で誰も敢えて手出しできない共和国の自主的尊厳と地位を高く轟かすようにする不敗の力の源泉はほかならぬ白頭の革命伝統であると彼らは強調した。

彼は白頭の密林にみなぎった自力更生の革命精神と闘争気風が連綿として継承される中に戦争の廃墟の上で伝説の千里馬が飛び上がり、14 年という短い歴史的期間に社会主義の工業化が輝かしく実現され、労働党時代の一大全盛期が開かれたことについて言及した。

朝鮮人民は歴史にかつてない長期的なきびしい環境の中で自体の力で生きていく方法、敵と難関を克服する方法を習い、必ず自力富強、自力繁栄を成し遂げて国の尊厳を守り、帝国主義に打ち勝つという革命的信念を固く抱くようになり、これは何にも比べられない共和国の最も貴い戦略的資源となっていると彼らは言った。

白頭の革命伝統は将来も朝鮮人民をチュチェ革命偉業の勝利の一筋道へと力強く推し進め、朝鮮革命に百勝の力を与える永遠なる勝利の旗印として、チュチェ朝鮮の貴い財宝として光を放つだろうと彼らは確言した。

すべての参加者たちは金日成主席の祖国解放業績を末永く輝かし、金正恩総書記の思想と指導に忠実に従って朝鮮式社会主義の全面的復興を繰り上げて実現するための闘争で課された責任と本分を全うする決意を表明した。

図書「偉大な年代に敬意を捧げる」について

社会科学出版社ではチュチェ112(2023)年に図書「偉大な年代に敬意を捧げる」を出版した。

偉大な金日成主席の卓越した指導の下に朝鮮人民は歩兵銃と原子爆弾との対決だとも言える厳しくて激しい祖国解放戦争で史上初めて世界「最強」を誇るアメリカ帝国主義に打ち勝って祖国の自由と独立を守り抜いて世界平和を守護した。

敬愛する金正恩総書記は最も厳しい環境の中で偉大な勝利をもたらしたその年代に謹んで崇高な敬意を捧げた。

図書は金日成主席の不滅の戦勝業績と戦火の勇士たちの遺訓を末永く伝えていく金正恩総書記の不滅の革命活動内容を叙述している。

出所：図書「偉大な年代に敬意を捧げる」

朝鮮民主主義人民共和国固有の特質

チュチェ 112(2023)年 9 月 9 日は朝鮮民主主義人民共和国創建 75 周年に当たる日である。75 年の長きにわたる道程には試練と難関が実に多かった。

困難極まりない年代記であった。しかし、共和国は常に勝利のみを記して発展し強化された。

試練の中でさらに強くなり、勝利により大きな勝利を重ね、絶えず発展し前進するのはわが共和国が歩んできた道程で証明した自分固有の特質である。

同号には 75 年間の長きにわたる路程でわが共和国が世界に示した自己固有の特質について朝鮮社会科学者協会の活動家と交わした談話を掲載する。



リ・クムヒ：われわれの生と幸福の揺籃である朝鮮民主主義人民共和国創建 75 周年を迎えると、わが共和国が形容しがたいきびしい試練を発展と飛躍の跳躍台にして力強い進軍を行ったという自負と誇りをもってその話を交わそうと思ってこのように一堂に会しました。

ユン・ヨンナム：私も興奮した気持ちを禁じることができません。ある国家の年が 75 歳だとするとき、それは決して小さいものではありません。一定の国家が正常的な国家建設の 75 年の歴史に発展と繁栄を成し遂げたとすればあまり驚異的でいまさらのことではありません。しかし、わが共和国が歩んできた年代記に直面した困難が多かったが、すべてを克服してわが共和国が勝利と繁栄を成し遂げたので、われわれが深い感動の中で振り返っ

ているのではありませんか。



キム・ソンクク：そうです。わが共和国は創建されて 2 年目に、文字通り揺籃期に 100 余年の侵略戦争史を持ったアメリカ帝国主義が起こした戦争を体験しました。

アメリカ帝国主義は戦争の 3 年間、わが共和国に 1 平方キローメートル当り平均 18 個の爆弾を落として朝鮮の都市と農村、工場、企業所、教育文化施設を廃墟に作りました。朝鮮人民は形容しがたい悲惨な生活を強いられました。

アメリカ帝国主義は朝鮮は 100 年掛かっても再建できないと豪語し、朝鮮を同情する友人たちも果たして朝鮮がこの難局をどのように打開するのかと、懸念を表した。

しかし、朝鮮人民は金日成主席に対する絶対的な信頼心を持って信念と楽観に満ちて復興建設に奮い立ちました。r.

リ・クムヒ：主席は戦争の時期、すでに戦後の復興建設の設計図を完成するようにし、停戦後、すぐ祖国の明日を見通して社会主義経済建設の基本路線を示したのではありませんか。



キム・ヒョクチョル：そうです。主席が示した社会主義経済建設の基本路線は重工業を優先的に発展させながら軽工業と農業を同時に発展させることを内容としている独創的で科学的な路線でありました。ところが、事大主義と教条主義に染まった反党分派分子は人民生活が厳しいなのに重工業を重視している、機械からご飯が出るのかとし、わが党の路線に反対しました。

チョン・スンクム：しかし、朝鮮人民は党の周りに団結してないものはつくり、足りないものは見つけ出しながら 3 ヵ年の復興建設計画を 2 年 8 ヶ月の間に完遂する成果を収めました。

灰燼を取り除いて復興建設を終えた朝鮮人民は人民経済 5 カ年計画の遂行に着手するようになりました。



ユン・ヨンナム：5 カ年計画の基本課題は生産関係の社会主義的改造を完成して社会主義工業化の基礎をしっかりと築き、人民の衣食住の問題を基本的に解決することでした。

5 カ年計画遂行の過程も決して平坦ではありませんでした。

5 カ年計画は莫大な投資と高い技術を求めましたが、わが国には設備と資材、労力と資金などすべてが不足であったし、技術も遅れている状態でありました。.

キム・ヒョクチョル：しかも、アメリカ帝国主義を頭とする帝国主義者と国際反動派の「反共」謀略策動がかつてなく狂気を振るっていました。あらゆる苦難と試練もわが共和国の前進をとどめることができませんでした。革命的大高揚、チョンリマ(千里馬)運動で社会主義革命が成功裏に遂行され、社会主義の基礎建設が進められました。

リ・クムヒ：社会主義の基礎建設も社会主義の全面的建設もきびしい条件と環境の中で行われたのではありませんか？

チョン・スンクム：そうです。社会主義の基礎建設をしていた時期、アメリカ帝国主義はカリブ海の危機を作り出し、トンキン湾事件を引き起こした。

世界制覇を夢見るアメリカ帝国主義を頭とする帝国主義者と

の長期にわたる闘争における勝利のためにわが共和国は経済建設と国防建設の並進という重担を担わざるを得ませんでした。

朝鮮人民は緊張を緩める暇もなく今日まで走ってきました。

キム・ソンクク：ゆえに、敬愛する金正恩総書記は朝鮮労働党創建 70 周年慶祝閲兵式および平壌市大衆示威行進で行った演説で世界制覇の野望に燃えるアメリカ帝国主義は創建されて間もない新生朝鮮に残酷な戦争を強い、困苦欠乏にたえて廃墟の上にようやく復旧すると、また新たな侵略の脅威をもたらし、人民経済を発展させようとすると、前代未聞の制裁と封鎖によって行く手をさえぎったと述べた。

ユン・ヨンナム：わが共和国は常に「唯一超大国」と自称するアメリカ帝国主義の核戦争脅威と戦争挑発策動に直面しました。

アメリカ帝国主義が停戦後 50 年間、韓国傀儡地域で行った各種の戦争演習と軍事訓練は公開されたものだけでも総 1 万 3700 余回になり、その中でも軍種別、兵種別アメリカ軍の単独軍事演習は 2400 余回にもなります。



チョン・スンクム：しかし、わが共和国は外部勢力の強権と圧力を断固排撃し、この地に巨大な転変の新しい歴史を開き、偉大な勝利のみをもたらし、自主、自立、自衛の社会主義強国に打ち立てられました。世人を驚嘆させた伝説的な年代と転換の分水嶺は例外なく対内外の情勢が複雑で、国難が迫って来た時期に成されました。

キム・ヒョクチョル：去る世紀の90年代には共和国を狙ったアメリカ帝国主義の核戦争脅威が絶頂に達し、もっとも横暴な帝国主義連合勢力がわが共和国に攻撃の矛先を向けました。

社会主義朝鮮の始祖である偉大な金日成主席の逝去後、数年もつづく自然災害を被ったわが共和国に戦争の脅威が差し迫り、朝鮮人民の前途に形容しがたい苦難と挑戦がさえぎりました。

まさにそのとき、偉大な金正日総書記は奴隷になるか、それとも自主的人民、自主的近衛兵になるか、社会主義は守れば勝利であり、捨てれば死であるとし、先軍の道につきました。

キム・ソンクク：朝鮮人民と世界人民が公認しているように金正日総書記の強大無比で賢明な指導があってわが共和国は帝国主義連合勢力との銃声のない戦争で勝利し、社会主義強国建設の跳躍台を築くようになりました。

生死を決する対決戦で勝利したばかりでなく強国へ疾走するわが共和国を見て全世界が「これは奇跡である！」という言葉で驚嘆しています。

追憶深い闘争の年代記に発揮されたわが共和国固有の特質は新しいチュチェ100年代に入ってより高く発揮されています。

ユン・ヨンナム：それはより悪辣になっている敵対勢力の制裁と悪性伝染病の伝播という厳しい条件の下でも首都と全国の農村に新しい通り、新しい村が相次いで建てられ、近代的な産業施設と果樹、畜産基地、大規模の野菜温室、人民の文化情緒生活基地がいたるところに建てられている事実だけを見てもよく分かります。

チョン・スンクム：困難や不足したものが多くても国家的負担で全国の生徒・学生たちに征服と学用品、子供たちにミルク製品をはじめ栄養食品を供給するのが党と国家の政策となり、経済発展と人民生活向上を見せる変革的実体が絶えず整えられている

今日の目覚しい現実は共和国の公民の飛躍の精神と創造気概を離れては考えることができません。

キム・ヒョクチョル：われわれ誰もが感じ、体験したように今日の困難は史上最大のものであります。

世界的な保健危機が依然として続いており、日増しに露骨化される敵の侵略策動はその度をさらに強めています。

困難が増加され、行く手に障害が多くてもわが国は実際の変化、実質的な前進をもたらしました。

国の防衛力をしっかりと固めるための活動も最上の境地で、国家の発展と人民の幸福のための創造と建設も革命的に、革新的に行っています。

リ・クムヒ：それらはすべて普通の常識では考えることもできない大勇断であり、果敢な実践であると思います。

きびしい困難の前でもためらうことなく、かえって飛躍と発展の機会に逆転させながら絶えず前進するわが共和国特有の気質が形成され、強固になった要因はどこにあると思いますか。

チョン・スンクム：それは、朝鮮労働党の人民大衆第一主義政治にあると思います。朝鮮労働党の人民に対する愛情と信頼、滅私奉仕が国家の根であり、基盤であり、その発展の担当者である人民に不屈の信念と意志、底知れない知恵と尽きない熱情を与えました。

党に従う道でわが人民は自体で生きていく方法、敵と困難を勝ち取る方法、自分の尊厳と権利を守る方法を習い、自主的で尊厳ある人民に育ちました。

キム・ソンクク：度重なる試練と挑戦を跳ね除けるたびにわが共和国はさらに強くなり、より高く飛躍しました。

難関を乗り越えて一歩一歩前進し、高く飛躍する過程に朝鮮人民の党に対する信頼と敬慕の念はさらに強まり、共和国の未来に対する確信も強くなりました。

リ・クムヒ：鋼鉄が炎の中で鍛えられるように、試練の中でさらに強くなった朝鮮人民、わが共和国であります。

皆さんの話を通じて世界の多くの人民が試練と難関に反作用してさらに強くなり、より大きな勝利を収める朝鮮民主主義人民共和国の特質、前進方式についてさらに感じるだろうと確信します。

ありがとうございます。

尊敬する尾上健一博士先生

アジア地域チュチェ思想研究所理事長
教授、博士、ハリシュ・グプタ

朝鮮民主主義人民共和国創建 75 周年に際してチュチェ思想国際研究所が 2023 年 9 月 3 日、ローマでチュチェ思想に関する国際討論会を開催するという消息に接し、嬉しく思います。

創建 75 周年は一国や一民族にとって非常にめでたい有意義な契機となります。

金日成主席が創始した不滅のチュチェ思想の旗の下に朝鮮民主主義人民共和国は最近、社会発展分野で確実な進歩を成し遂げました。

金正日総書記は金日成主席が創始したチュチェ思想を時代と革命発展の要求に即してより発展豊富化させました。

朝鮮の領袖たちの賢明な指導によって、朝鮮民主主義人民共和国は政治的に、経済的に、そして軍事的に強い自主独立国家となりました。

金日成・金正日主義を指導指針としている金正恩総書記のエネルギッシュな指導の下、チュチェの社会主義の旗はより高くひるがえっており、朝鮮民主主義人民共和国の人民は立派な生活を享受しています。

私は私とアジア地域チュチェ思想研究所を代表してあなたがイタリアのローマ国際討論会を開催する活動で大きな成果を収めることを願います。

熱い挨拶を送ります。

敬意を表します。

アフリカ地域チュチェ思想研究委員会が
送る祝電

アフリカ地域チュチェ思想研究委員会書記長
教授　ロヘケレ・カロンタ・アンドレ

尊敬する組織者と参加者の皆さん

朝鮮民主主義人民共和国創建 75 周年を慶祝するためにイタリアの首都ローマで開かれる今回の国際討論会を契機にアフリカ地域チュチェ思想研究委員会は私自身を通じてヨーロッパ地域委員会、チュチェ思想国際研究所、朝鮮社会科学者協会、また他の大陸から集まってきたすべての参加者に熱烈な祝賀を送ります。

今回の討論会のテーマは「自主と主権、社会発展」としてヨーロッパ地域だけでなく、アフリカにいる私たちにとっても雄弁的で現実的なものです。

だから、この実際的なテーマに対する参加者の間の交流と相互作用はみんなにとって大変有益なものになります。

アフリカ地域チュチェ思想研究委員会は大きな歴史的意義を持つこの交流に少しでも貢献する準備ができており、本国際演壇にこのようなテーマを選定してくれた組織者とチュチェ思想国際研究所、朝鮮社会科学者協会に心からなる感謝を送ります。

イタリアのローマで開かれる本国際討論会に成果があれ！

ヨーロッパ地域チュチェ思想研究会名義の祝電

朝鮮民主主義人民共和国は創建 75 周年を迎えるようになり、朝鮮人民とともに世界進歩的人民は誇らしくて栄えある 75 年の共和国の歴史を振り返っています。

偉大な金日成主席によって創建されたときから朝鮮民主主義人民共和国は長きにわたる勝利的な自主、主権、社会発展の道を歩んできました。

今日の朝鮮民主主義人民共和国は偉大な金日成主席の不滅の業績、また主席が創始したチュチェ思想と切り離して考えることができません。主席の指導の下に朝鮮民主主義人民共和国が創建されたことによって、朝鮮民主主義人民共和国と朝鮮人民の運命開拓の道では根本的な転換がもたらされました。

金日成主席の主体的な国家建設思想と老熟かつ洗練された指導によって朝鮮民主主義人民共和国は真の人民の国として強化発展され、朝鮮人民は国家と社会の主人としての権利を行使しながら真の生の生きがいと幸せを享受するようになりました。

朝鮮民主主義人民共和国はチュチェ思想によって指導され、朝鮮労働党の指導の下にチュチェ思想を国家建設と国家活動に全面的に具現していくから不敗の威力を持ったチュチェの社会主義国家に建設されるようになりました。

朝鮮民主主義人民共和国は国家建設と活動、革命と建設で提起されるすべての問題を自分の思想と信念、決心と意志によって自体の実情と朝鮮革命の利益に即して自力更生の原則に立って自力的に、そして朝鮮式に解決しています。

金日成主席と金正日総書記の指導の下に朝鮮民主主義人民

共和国は不敗の威力を持ったチュチェの社会主義国家に建設、発展され、歴史の挑戦を耐え抜いて世界を驚かす勝利と変化をもたらしました。

今日、敬愛する金正恩総書記の卓越した指導によって朝鮮人民の尊厳は全世界に光を放っており、金正恩総書記の非凡な指導によって朝鮮民主主義人民共和国の威力は全世界に誇示されています。

朝鮮民主主義人民共和国は人民が偉大な領袖の指導を受けるとき、革命が勝利することをすべての進歩的人民に模範として示す社会主義の強国です。

世界の労働者階級にはチュチェ思想のような強力で生命力のある思想が必要です。

チュチェ思想を研究し、普及するのは世界のすべての進歩的人民の前に提起される大変重要な課題です。今日、多くの国家が帝国主義の専横によって自主性を失っています。

ヨーロッパではアメリカ帝国主義者の策動によって戦争が繰り広げられています。われわれには自主性を守ることのできる強力な思想が必要です。

その思想はまさに、金日成主席が創始したチュチェ思想です。

チュチェ思想国際研究所はチュチェ思想を普及するうえで重要な位置を占めており、大きな役割を果たしています。

われわれは今回の討論会が世界のすべてのチュチェ思想研究組織が朝鮮民主主義人民共和国についてよく理解し、チュチェ思想普及における具体的な経験を交流することのできる重要な契機になると思います。

われわれは今回の討論会が世界のすべてのチュチェ思想研究組織が朝鮮民主主義人民共和国についてよく理解し、チュチェ思

想普及における具体的な経験を交流することのできる重要な契機になると思います。

　われわれは「自主と主権、社会発展」討論会が大きな成果を収めることを願います。

「自主と主権、社会発展」に関する
国際討論会宛

親愛なる討論会の参加者の皆さん。

ラテンアメリカ・チュチェ思想研究グループは朝鮮民主主義人民共和国創建75周年に際して行われる「自主と主権、社会発展」に関する国際討論会のすべての参加者に熱烈な祝賀を送ることを栄光に思います。

今回の討論会は、希世の偉人たちの賢明な指導の下に国の独立と自主権、朝鮮半島と世界の平和と安定を英雄的に死守しながら75年の勝利的で、栄えある歴史を記してきた朝鮮民主主義人民共和国創建記念日を迎える意義深い時刻に召集されたことにより、大変重要な会合になります。

討論会では、人民大衆中心の不滅のチュチェ思想を創始し、日本帝国主義の植民地境遇から朝鮮を解放し、栄えある朝鮮民主主義人民共和国を創建し、祖国解放戦争で輝かしい勝利を収めてアメリカ帝国主義の下り坂の端緒を開き、朝鮮労働党と朝鮮民主主義人民共和国、朝鮮の革命的武装力を必勝不敗へと強化した朝鮮人民の永遠なる主席である金日成主席の偉大な業績について強調するのが大変重要でしょう。

われわれは、金日成主席が創始し、金正日総書記が発展体系化し、金正恩総書記が輝かしく継承したチュチェ思想の正当性と生命力について常に確信し、朝鮮人民がチュチェの旗を高く掲げて朝鮮の自主権と尊厳を頼もしく固守しながら社会主義のための闘争で輝かしい勝利を収めることを確信します。

　ラテンアメリカ・チュチェ思想研究所は、討論会がチュチェ思想の普及を世界的範囲へと拡大し、朝鮮民主主義人民共和国の国務委員長である金正恩総書記の賢明な指導の下にアメリカとの対決戦と正義の新世界建設での勝利のためにたたかう朝鮮人民に固い支持と連帯を送るうえでも大変重要な契機になるという固い確信を表するものです。討論会が成功裏に行われることを心から願います。

「自主と主権、社会発展」に関する国際討論会宛

朝鮮社会科学者協会は共和国創建 75 周年に際して行われる「自主と主権、社会発展」に関する国際討論会と同会に参加したすべての参加者に心からなる熱烈な祝賀と温かい挨拶を送ります。

朝鮮民主主義人民共和国創建 75 周年を迎えながら世界の進歩的人民はわが共和国の創建と強化発展、世界の自主化偉業の遂行に不滅の貢献をした金日成主席と金正日総書記、金正恩総書記の偉大さについて激賞しており、自主、自立、自衛の思想の正当性と生命力を実証してくれる共和国の現実を通じて各国で自主性を擁護し実現していくことの重要性と意義をさらに深く感じています。

チュチェ思想国際研究所の主催でイタリアのローマで行われる今回の討論会は、世界的な保健危機を克服してチュチェ思想国際研究所と各地域のチュチェ思想研究所の責任メンバーをはじめとした各国のチュチェ思想研究者とイタリアの進歩的人士が一堂に会したことと、同時に世界の多くの人士がオンラインで参加します。

チュチェ思想を研究し、自主を志向する多くの人士が参加して行う今回の国際討論会はチュチェ思想研究普及活動をより一層拡大し、世界の進歩的人民間の連帯と友誼を厚くする上で大きな意義をもちます。

朝鮮社会科学者協会は自主と平和の理念の下、自主化された新しい世界を建設しようとする朝鮮人民と世界の進歩的人民の一致した念願を反映して開かれた貴討論会が全参加者の積極的な支持と誠意によって立派な成果を収めることを心から祈願いたします。

自主は主権国家の生命であり、社会発展の保証である

ヨーロッパ地域チュチェ思想研究会理事長
エドモン・ジューブ

チュチェ思想国際研究所理事長ラモン・ヒメネス・ロペス先生。

チュチェ思想国際研究所事務局長尾上健一先生。

朝鮮社会科学者協会副委員長パク・チョルジュン先生。

イタリア駐在朝鮮民主主義人民共和国大使館の外交代表のみなさん。

討論会に参加した各国のチュチェ思想研究者のみなさん。

親愛なる友人のみなさん！

今日、われわれは 3 年以上も続いた世界的な保健危機を克服し、やがてイタリアの美しい都市ローマでチュチェ思想研究者の大会合をもつようになりました。

「自主と主権、社会発展」に関する国際討論会は、世界政治の潮流と国際関係の構図で急速な変化と深刻な地殻変動が起こっている今日の現実の中で自主強国として尊厳を轟かせている朝鮮民主主義人民共和国の創建 75 周年を迎える歴史的時期に開かれたことにより、その意義はとても大きいのです。

私は意義深いこの場を借りて、すべての参加者とチュチェ思想研究者の崇敬の心を込めて、朝鮮民主主義人民共和国の創建と強化発展、世界の自主化偉業の実現に不滅の業績を積み上げた金日成主席と金正日総書記の永生を祈願いたします。

あわせて、敵対勢力の増大する孤立圧殺策動と世界的な保健危機の中でも世人が驚嘆する目覚ましい発展をもたらし、今日はこのようにわれわれが意義深い会合をもつようにしてくれた敬愛する

金正恩閣下に心からなる感謝の挨拶を送ります。

私はこの機会に画像方式を含めて討論会の参加者の皆さんに祝賀の挨拶を送りつつ、特に大陸と大洋を越えてここに参席したチュチェ思想国際研究所の尾上健一先生に謝意を表します。

また、本討論会の成果的開催のために惜しみのない努力を傾注したヨーロッパ地域チュチェ思想研究会書記長マテオ・カルボネリ先生とローマ駐在朝鮮民主主義人民共和国大使館の諸先生にも感謝の挨拶を送ります。

みなさん。

今日、われわれが直面している現実は各国と各民族が自主的に進むときにのみ、自己の主権を固守して社会の発展を保証することができ、世界の平和と安全も保証されるということを実証しています。

今、世界各地で多くの国々が自主権を無残に蹂躙され、発展権を抑制されており、それによって人類が強いられている苦痛は筆舌に尽くしがたいものです。

主権国家としての権利と尊厳を明らかに行使し、自分の方式で正確な発展行路に沿って力強く前進していく地球上の唯一の国はほかならぬ朝鮮民主主義人民共和国です。

今から 75 年前、東方の最初の人民民主主義国家としてその誕生を宣布した朝鮮民主主義人民共和国は、困難で試練に満ちた全行程で思想におけるチュチェ、政治における自主、経済における自立、国防における自衛の原則を堅持してきました。

これはチュチェ思想の創始者である金日成主席を離れて考えられません。

偉大な金日成主席は史上初めて自主性は個々人にとって生命であるばかりでなく、国家と民族にとっても生命であるということを示し、自主的な国家建設の始原を開きました。

主席の偉大な継承者である金正日総書記は銃剣によって国家の存立も持続的発展も保証されるという自主の信念と特出した政治実力で敵の強硬に超強硬で立ち向かって帝国主義列強との対決戦でそのつど痛快な勝利をもたらし、社会主義のとりで、自主のとりでである共和国を固守しました。

金日成主席と金正日総書記の自主理念は朝鮮民主主義人民共和国が歩んできた波瀾万丈の歴史にそのまま込められており、共和国の創建と発展歴史を通じてその正当性と生命力が実証されたこの理念は、進歩的人類の自主化のための闘争の旗印、目標となりました。

金日成主席と金正日総書記が共和国の創建と強化発展、世界の自主化偉業に積み上げた大きな業績は、自主の道を進もうとする人類のより高まる志向とともに、繁栄する富強な朝鮮民主主義人民共和国の未来とともに不滅であるでしょう。

朝鮮民主主義人民共和国は敬愛する金正恩閣下をいただいたことにより、自主強国としてその尊厳がさらに光を放っています。

今日、世界は保健危機と前例にない地政学的危機まで折り重なったことにより、国際勢力関係の急速な変化を目撃しており、新たな国際関係構図への移行を決する分水嶺に入っています。

朝鮮民主主義人民共和国は今日の国際勢力関係の急速な変化の中で世界的な核強国としての自己の存在感を明白にして世界の焦点を集めており、新たな国際関係構図への移行を決する上で無視できない勢力となりました。

これは金日成主席と金正日総書記の自主政治の歴史を億万金とも換えられないものとして重視し、自主を共和国の前進と発展の高貴な指針とした金正恩閣下の賢明な指導の結果です。

自主のみが朝鮮半島と地域の強固な平和と安全な環境をもたらし、人民に限りなく幸せな生活を保障しうる道であるという哲理を

肝に銘じた金正恩閣下は、経済建設と核武力建設の並進路線を示して強靱に導き、共和国を世界的な核列強の地位に引き上げました。

人民にたいする熱烈な愛と絶対的な信頼、滅私奉仕の意志を抱いて不眠不休の労苦を注いだ金正恩閣下の献身は、共和国に経済発展と科学技術的進歩を示す革新的成果をもたらしました。

都市と農村、各地で現代文明が凝縮された記念碑的建造物と住宅が昨日と今日が見違えるほど聳え立っています。

このすべての偉大な建造物の享受者はほかならぬ平凡な共和国の公民です。

奇跡的で神秘的であるといえる共和国の現実は金正恩閣下が堅持する自主路線の真の意味を世人にはっきりと刻印させています。

共和国の 75 年の歴史と未来は進歩的人民に決して人類の理想が夢ではないという確信を持たせ、人類を新しい社会建設と新しい生活創造へと鼓舞し、正しい道へと導いてくれます。

偉大な自主の思想と共和国の貴い経験と勝利の歴史にたいする研究は一つの激しい時代の流れとなっており、この流れの前列にはわれわれチュチェ思想研究者たちが立っています。

私は今回の討論会が全世界的範囲でチュチェ思想研究普及活動を行っている学界、政界など各界人士たちの意思疎通を強化する意味ある契機に、世界を自主的に発展させることに寄与する有意義な討論会になるだろうと確信します。

改めてみなさんを祝賀し、実のある討論を楽しみにしています。

ありがとうございます。

自主の時代、民衆の時代に向かって

－朝鮮民主主義人民共和国創建75周年を祝賀する－

チュチェ思想国際研究所事務局長
尾上健一

尊敬するチュチェ思想国際研究所理事長 ラモン・ヒメネス・ロペス先生

尊敬するヨーロッパ・チュチェ思想研究学会会長 エドモン・ジューブ先生

本日のローマ・セミナーを立派に準備してくださった尊敬するヨーロッパ・チュチェ思想研究学会書記長のマッテオ・カルボネリ先生をはじめ関係者の皆さん

尊敬する同志と友人の皆さん

初めに、私は世界のチュチェ思想研究者をあたたかく励まし導いてくださり、また、今回、ローマ・チュチェ思想研究セミナーが成功裏に開催されるよう助力してくださった尊敬する金正恩閣下に謹んでお礼を申し上げます。

私は、同志の皆さんに再会した喜びを感じながら、チュチェ思想の今日的意義と威力について、新たな歴史的段階における世界のチュチェ思想研究活動について述べます。

現代はチュチェの時代

こんにち、自主、自立へ向かう歴史の歯車が力強く動いています。

世界の自主、自立の流れを牽引し、人類を社会主義、共産主義未来へと導くのはチュチェ思想であり、実践の模範は創建 75 周年を迎えた朝鮮民主主義人民共和国です。

朝鮮は 1945 年に解放をかちとった後、1948 年に朝鮮民主主

義人民共和国を創建し、社会主義をりっぱに建設し、こんにち世界における社会主義の模範の国になっています。

金日成主席は独立した国の進路について次のように述べています。

「帝国主義のくびきからぬけだし、新しく独立した国ぐにには、民族の独立を守り、革命を前進させ、いまなお帝国主義の従属下にある人民の解放闘争を支援すべき、きわめて困難で重大な課題が提起されている。独立をかちとった人民は外国帝国主義と国内反動勢力の破壊活動を粉砕し、その経済的基盤を一掃し、革命勢力を強化し、進歩的な社会制度を樹立し、自立的民族経済と民族文化を建設するためにたたかうべきである。ただこうしてのみ、革命の獲得物を守り、国と民族の繁栄をとげることができ、帝国主義を葬りさる全世界人民の共同闘争に貢献できるであろう」

帝国主義の植民地支配に抗してたたかい、独立を達成した国々では、独立後どの道を行くのか、どのように国づくりをおしすすめていくのか、政治的進路を正しく規定することが切迫した要求となりました。

金日成主席は朝鮮では独立後、チュチェ思想に沿って、政治的自主、経済的自立、国防における自衛を強固にうちたて社会主義の道をひとすじに前進してきたと述べています。

「われわれがこれまでに社会主義革命と社会主義建設でおさめた偉大な勝利と成果は、わが党のチュチェ思想とそれをすべての部門に具現した自主・自立・自衛路線の偉大な生命力のりっぱな結実であります。われわれは、マルクス・レーニン主義の原理を朝鮮の具体的な現実に創造的に適用して自主的に政策を定め、その遂行をめざして、勤勉で才能ある人

民のつきることのない創造力と豊かな国内資源を動員したため、短期間に、政治において自主、経済において自立、国防において自衛の社会主義国家を建設することができたのであります」

自主、自立、自衛の社会主義国を築くためには、党が自国の民衆に徹底して依拠し、自国の実情に応じて創造的に社会建設をすすめていくことが求められます。

新しく独立した国や発展途上国では、植民地下で飢餓にあえいできた人民に十分食べさせることが重要な政策となります。

金日成主席は、工業が立ち遅れている新興諸国の場合、まず農業問題を優先的に解決して人民の生活を安定させ、資金に余裕が出た後、工業を発展させたほうがよいと述べています。

朝鮮の場合、1946 年に土地改革が行われます。

金日成主席は、日本帝国主義の支配下で苦労してきた農民の願いは、一生に一度でも自分の土地を耕してみることだと述べ、まず土地改革をおこなって土地を農民に無償で分配しました。

つぎに農民が労力互助や役牛共同利用などの協同的労働によって農業をよくおこなえるようにして、農民が集団的営農の優越性を理解し自発的に協同化に進むよう導きました。

世界では独立後、長い年月が経ったいまも農業問題の解決に苦慮している国が少なくありません。独立前、帝国主義が押しつけた単一作物植え付けの弊害や、食糧援助に名を借りた帝国主義の新たな支配が食糧問題の解決を遠ざけているためです。

新興諸国は独立した後、政治的自主、経済的自立、軍事的自衛の三大課題を各国の実情、各国人民の要求に応じて実現することが重要です。

自国の社会経済的条件にあわせ、民衆の要求を高めながら社

会建設を進めていくという朝鮮の政策はチュチェ思想に思想的基礎をおいています。

チュチェ思想を徹底して具現することによって、民衆の尽きない力が発揮され朝鮮革命が成功裏におし進められました。

金日成主席は 1930 年代の朝鮮の革命運動における課題から教訓を得て、チュチェ思想を創始しました。

金正日総書記は金日成主席がチュチェ思想を創始したことと関連して次のように述べています。

「金日成同志は革命の道を歩みはじめた当初からかれらの誤りを見抜き、かれらとは異なった道、人民大衆のなかに入り大衆に依拠してたたかう真の革命の道を歩みました。そして革命の主人は人民大衆であり、人民大衆のなかに入ってかれらを教育し奮起させるならば、革命を勝利に導くことができるという真理を明らかにしました。これがチュチェ思想の起点の一つです」

金日成主席が生涯の座右の銘としていたのは「為民以天」です。

金日成主席はこの世でもっとも有力で尊い存在は民衆であるという思想を信念として革命を指導してきました。金日成主席は、革命の主人は民衆であり、民衆のなかに深く入り、民衆を組織動員してこそ革命は勝利する、魚が水を離れては生きられないように革命家は民衆から離れては勝利できないと述べています。

また、金日成主席が教訓として重視した二つは、すべての問題は朝鮮人民自身の力で朝鮮の実情に応じて解決しなければならないということです。

金日成主席が抗日武装闘争を始めた時期は、歴史上はじめてソビエト社会主義が誕生し、各国の共産主義者はコミンテルンの指導を受けて活動するようになっていました。

朝鮮も例外ではなく、共産主義者を自称する党はコミンテルンの承認を得ようと競い合い、ソ連への留学に憧れる青年学生も少なくありませんでした。

心ある人々は金日成主席にソ連留学を熱心に勧めましたが、主席は朝鮮人民に依拠し、朝鮮のなかでたたかうことが重要だと考え辞退します。

金正日総書記は、チュチェ思想の出発点と関連して、革命は自主的創造的におし進めることを要求すると述べています。

「金日成同志はこうした事大主義、教条主義の禍から深刻な教訓を汲みとり、革命は他人の承認や指示によることなく、自分の信念にもとづき自分が責任をもって進め、革命におけるすべての問題を自主的、創造的に解決すべきだという真理を明らかにしました。これがチュチェ思想のいま一つの起点です」

金正日総書記はさらに、現時代は各国人民が自主性のための偉大な闘争をおし進めており、チュチェ思想の真理性、正当性はいっそう明確になっていると述べています。

「われわれの時代に至って人民大衆は世界の真の主人として登場し、その闘争によって世界はますます人民大衆に奉仕する世界に変わりつつあります。世界の主人としての人民大衆の地位と役割がかつてなく強まっている今日の現実は、人間があらゆるものの主人であり、すべてを決定するというチュチェの哲学的原理の正しさと生活力をより明白に立証しています」

第二次世界大戦後、世界の多くの国々は独立し、新国家建設にわきたっていました。

新興諸国の人々は、日米帝国主義の侵略をうちやぶり、チュチェ思想にもとづく社会主義建設を力強くおしすすめている朝鮮

に注目し、金日成主席にたいする尊敬の念を強く抱いていました。それは、朝鮮の指導思想であるチュチェ思想にたいする関心の高さとなって表れていました。

1976 年、マダガスカルで世界 50 か国、約 1000 名の代表、当時のラチラカ大統領が参席し、チュチェ思想国際科学シンポジウムが開催されました。

参加した国の代表からはチュチェ思想に関する常設的な国際研究機構を設立することが提起されました。

翌 1977 年、平壌で世界 73 カ国、4 国際機構が参加しチュチェ思想国際セミナーが開催され、セミナーにおいてチュチェ思想国際研究所を創立することが決定されました。決定にもとづいてチュチェ思想国際研究所創立準備委員会が組織され、事務局を東京に置くことにしました。

金日成主席はチュチェ思想国際セミナーに参加していた日本のチュチェ思想研究会代表団に接見された席上で、多くの国で要請していることはわれわれの経験とチュチェ思想の真理を学べるようにしてほしいということである、私が見るからには、一部の新興独立諸国、発展途上諸国で未だ新しい社会建設路線を正確に立てられていないようだ、それは国家指導者が新しい社会建設に関する理論で武装していないことと関連している、今回のチュチェ思想に関する国際討論会でチュチェ思想を研究普及するための国際的な組織を設けることにしたのは、まさにこのような客観的要求から提起されたものと思う、われわれはこの客観的要求を実現するために努力しなければならないと述べました。

金日成主席は当時勢いを増していて非同盟運動の指導者として、新興諸国にたいする帝国主義の新たな侵略策動に警鐘を鳴らし、新興諸国が自国人民に依拠し自主の道を進むように導いてい

ました。

主席は、新興諸国がチュチェ思想を手にし、自国人民に依拠して自主的創造的に国づくりをすすめていくためにチュチェ思想国際研究所は重要な役割をもっている、チュチェ思想に関する国際的な研究機関は決して政治団体になってはならず、あくまでも学術研究団体にしなければならない、新興独立諸国、発展途上諸国が新社会建設の経験を多く学ぼうとする条件のもとで、それらの国にわれわれの豊富な経験を教えれば新しい社会の建設に役立つだろうと述べました。

金日成主席は新興諸国が新しい国づくりを成功裏におしすすめることを願い、チュチェ思想国際研究所に大きな期待を寄せたといえます。

1978 年 4 月 9 日、チュチェ思想国際研究所が創立されて以降、チュチェ思想を研究普及する活動が活発におこなわれるようになりました。

さる 4 年の間、コロナ禍が世界を覆い、国際的な集いを開けない状況下でも各国、各地域でチュチェ思想研究活動がおこなわれ、チュチェ思想国際研究所との連携もよくとられてきました。

2021 年、2022 年にはメキシコをホスト国にしてオンライン・チュチェ思想国際セミナーが開催され、70 以上の研究論文が寄せられ各地域研究所の主要メンバーが討論しました。

今年 4 月には金日成主席の生誕 111 周年に際し、東京でアジア、ヨーロッパ、ラテンアメリカの代表が参加してチュチェ思想国際研究所創立 45 周年を記念するチュチェ思想セミナーを盛大に開催しました。

チュチェ思想国際研究所の理事長はメキシコからオンラインであいさつを述べました。

きょうは、ヨーロッパ、アジア、アフリカの各チュチェ思想地域研究所の代表がローマに集い、朝鮮民主主義人民共和国創建 75 周年を祝賀して、チュチェ思想セミナーを開催しています。

こんにち、チュチェ思想国際研究所の役割はいっそう大きくなっています。

金日成主席が述べたようにチュチェ思想を各国人民が手にし、自主の道にすすむようにするために、私たちはチュチェ思想研究普及活動をたえず改善していかなければなりません。

チュチェ思想を深く研究して広く普及していくためには、各国の実情に応じて研究活動をおこなっていくことが求められます。朝鮮の経験に学ぶことは大切ですが、朝鮮のやり方をそのまま真似たり宣伝するのではなく、自国の実情に応じて研究し、自国の進歩と発展のために創造的に適用していくことが大切になります。

また、チュチェ思想を深く学び、広範な人々に普及する活動をストレートにおこなわなければなりません。朝鮮との友好親善活動だけをもってチュチェ思想研究普及活動に変えることはできず、あくまでチュチェ思想を高くかかげて活動していくことが重要です。

新しい時代の反帝闘争とグローバルサウスの台頭

各地域でおきている反米反帝連帯の強化、グローバルサウスの台頭は人類史の大きな変化を象徴するものです。

帝国主義列強が世界を侵略、支配し、各国に植民地従属国としての不本意な生き方を強いた時代は終わりを告げました。

しかし帝国主義はおのずと歴史の舞台から静かに去ることはなく、必ず最後のあがきを見せるものです。弱体化した米帝国主義は数少ない従属国を率いて各国に干渉し、侵略戦争を引き起こしています。

金日成主席は反帝闘争にたいする原則的態度を次のように述べています。

「帝国主義が存在するかぎり、世界は決して平穏ではありえず、侵略と戦争はなくなりません。帝国主義、とくにアメリカ帝国主義とのたたかいをぬきにしては、世界の平和を守ることはできず、民族の解放と独立も、民主主義と社会主義の勝利もかちとることができません。帝国主義にたいしてはいかなる幻想もいだいてはならず、それを最終的に打ち破るまでは革命の旗を高くかかげて、反帝反米闘争をひきつづき強化しなければなりません」

「アメリカ帝国主義に反対し、世界平和を守るためには、アメリカ帝国主義の手先とその同盟者に反対してたたかわなければなりません」

「われわれはアメリカ帝国主義の力を過小評価してもいけないが、決して過大評価してもなりません。地球上の帝国主義がすべてそうであるように、アメリカ帝国主義も下り坂を転げおちており、日を追って死滅しつつあります。アメリカ帝国主義者の激化する侵略策動は、かれらの強大さを示すものではなく、かえってかれらの脆弱さを実証するものであります。アメリカ帝国主義者が横暴にふるまえばふるまうほど、かれらの境遇はますます困難になっています。他方、帝国主義に反対する諸国人民の闘争はひきつづき高まっており、その戦列はますます拡大しています」

1949 年、米欧帝国主義の軍事同盟である北大西洋条約機構（NATO）が結成されました。NATO は、当時影響力を増したソ連に対抗するための西側の軍事的包囲網として存在していました。

その後、ソ連は崩壊して資本主義の道を歩むようになると、

東側の軍事同盟ワルシャワ条約機構も解体しました。しかし、NATO は解体するどころか旧東欧諸国等を取り込んで東方拡大を続け、発足当時の 12 ヵ国から現在は 31 カ国に増えています。

NATO の東方拡大はロシアの崩壊・弱体化に目的があり、ロシアにとって大きな脅威となっています。

さらに米国大統領にバイデンが就任してからは、NATO の軍事行動の対象が北大西洋からはるかに離れたアジア・太平洋にまで及んできました。バイデン大統領は 2023 年 7 月、NATO サミットにおける共同声明に「中国の野心と威圧的政策は、NATO の利益や安全、価値観への挑戦」と断定し、中国に敵対する意思を露骨に表しています。

岸田文雄首相は、NATO 連絡事務所を東京に置くことに奔走し、NATO サミットに参加するなど米国の指示に忠実に従っています。

日本は NATO の戦争に加担するための国内体制の整備、軍事予算の拡大に向けて大きく舵を切りました。

2022 年 12 月の米国訪問直後、岸田文雄首相は、安全保障 3 文書を閣議決定しました。米国の意向にそって、軍事費を従来の GDP 比 1％から 2 倍の 2％とし、2023 年度からの 5 年間の防衛費総額を 43 兆円程度とするという決定は、従来の計画から 1.6 倍に積み増す過去最大の増額です。

2023 年 6 月、バイデン大統領は 2024 年の大統領選挙に向けた選挙イベントで、日本の防衛費増額の動きは、自分が岸田文雄首相にはたらきかけて説得した成果だと暴露しました。

バイデン大統領の発言に慌てた岸田政権は、日本独自の判断によるものだとの弁明を繰り返し、バイデン発言をもみ消すため必死になっています。

岸田文雄首相は、すでにウクライナにおける戦争に加担し、

ロシアを攻撃するために莫大な軍事援助をおこなっています。沖縄の離島をはじめ日本全土に米軍と自衛隊が配備され、中国、朝鮮にたいする軍事的威嚇を強めています。

度を越した日本政府の対米隷従と、再び頭をもたげた軍国主義的野望は、アジア人民、日本国民を戦争に巻き込むものであり決して許すことはできません。

いま世界は反帝自主、平和を目指す大きな動きのなかにあります。

中南米では左派政権の誕生が続き、2023 年現在、南米 10 カ国中８カ国に達しています。

2018 年にメキシコでは国家再生運動（MORENA）の代表、ロペス・オブラドールが大統領選に勝利し、メキシコ初の左派政権が誕生しました。翌 2019 年にはアルゼンチンで 4 年ぶりに左派が政権を握り、2020 年にボリビアで左派が政権を奪還しました。2021 年のペルー、チリ、ホンジュラスで左派への政権交代がおこり、2022 年にはコロンビアとブラジルで左派政権が誕生しました。

米帝国主義は 200 年以上前から中南米諸国を自分の「裏庭」と呼んで蔑視し、各国の内政に干渉し軍事介入までおこなって支配し搾取してきました。さらに米国は自主的な政策をとる国にたいする経済制裁を徹底して強めてきました。

2022 年 6 月、アメリカ・サミットに際し、バイデン大統領があからさまにベネズエラ、ニカラグアの首脳を排除したことにたいしメキシコのロペス・オブラドール大統領は強く抗議し、反米的立場をとる国々が結束して会議をボイコットしました。中南米諸国にたいする影響力の回復を狙った米国は反米感情をいっそう強める結果を招いています。

2023 年 5 月、ブラジルで南米諸国連合（UNASUR）会合が開催されました。会合には、アルゼンチン、ボリビア、チリ、コロンビア、エクアドル、ガイアナ、パラグアイ、ペルー、スリナム、ウルグアイ、ベネズエラの 11 カ国の国家元首級が参加しました。

主催国ブラジルのルラ大統領は“私たちは互いの利益のために団結するか、あるいは大国の操り人形になるかだ”と、南米諸国が反帝の立場に確固と立って結束を強め、地域の安定、繁栄を実現することを主張しました。

アメリカとカナダを除く、中南米諸国 33 カ国はラテンアメリカ・カリブ諸国共同体（CELAC）という枠組みをつくり連携を強めています。CELAC は「中南米の問題は中南米で解決する」という理念を掲げ、域内の様々な問題に共同で解決にあたろうとしています。

近年、中南米諸国はロシア、中国との協商関係を強め、最近はイランとの関係も強化されています。

2023 年 6 月、イランのライシ大統領はニカラグア、ベネズエラを歴訪して各国元首と会談して新たな貿易協定も結び、反米連帯の絆を強めています。

今年、中東諸国ではかつてなかった大きな変化、アラブ世界の統一団結の流れが強まってきました。

2023 年 3 月、イランとサウジアラビアは 7 年間の断交に終止符を打って和解し、国交正常化に合意しました。中東の両大国が関係改善に向かったことは中東の平和と安定において重要な意味をもちます。

さらに、2023 年 5 月、シリアが 12 年ぶりにアラブ連盟に復帰しました。シリアは 2011 年、米国の干渉によりアラブ連盟への参加資格を停止されていました。しかし、中東諸国はシリアへ

の経済制裁を続ける米国と袂を分かち、一致してシリアとの関係改善を進める方向に動き出しました。

5 月 19 日に開催されたアラブ連盟会議には 22 カ国・機構の代表がそろい、シリアのアサド大統領を歓迎しました。会議では、アラブ連盟加盟国は共通の基盤、価値観、利益にもとづいて共同行動をとることを確認し、「ジェッダ宣言」が採択されました。

方や米国は中東地域においても政治的経済的影響力を決定的に弱めています。バイデン大統領は関係改善のためサウジアラビアに自ら赴いたものの、傲慢な対応はかえってサウジアラビアの反発を増幅する結果となりました。

中東諸国は反目と紛争の原因をつくってきた外部勢力との関係を見直し、域内で協力して発展していく段階に踏み出しました。

自主、平和に向かう世界の流れを形成する勢力として注目されているのは、グローバルサウスです。グローバルサウスはこれまでの途上国という枠組みを超え、経済的にも政治的にも国際社会の中で無視できない存在となっています。

グローバルサウスの存在が大きく注目されるようになったのは、ロシアにたいする NATO の不当な戦争を契機にしています。

グローバルサウスの国々は、帝国主義によって侵略され略奪された歴史を共有しています。帝国主義の支配の手法を熟知しているグローバルサウスは、ウクライナ紛争は、米欧がロシアを攻撃するために引き起こした戦争であることを見通しており、公正な判断を下しています。

国連総会において米欧が主導して発議したロシアへの制裁に決議にたいし、グローバルサウスの 3 分の 2 以上は反対、棄権を表明しています。また、国連安保理事会において、米欧の決議案は中国、ロシアの反対によって廃案になる状況が続き機能不全に

陥っています。

グローバルサウスはオンラインや直接の会合で結ばれ、共通の方向性を確認し団結しつつあります。

2022 年、「グローバルサウスの声サミット」は世界 124 か国が参加して開催されました。

議長国インドのモディ首相は、“われわれ、グローバルサウスは、将来に対して最大の利害を有している。世界人口の 4 分の 3 がグローバルサウス諸国に暮らしている。われわれはしかるべき発言力も有するべきだ。したがって、80 年間に及ぶグローバル・ガバナンスの古いモデルが緩やかに変化する今、われわれは新たな秩序を作り出す努力をしなければならない”と述べています。

いま帝国主義は、グローバルサウスの世界にたいする影響力の増大に恐れをなしています。

2023 年 5 月、G7 広島サミットにおいて、バイデン大統領はグローバルサウスを三分割し、名称を変えることを提案しました。バイデンの提案に透けて見えるのはグローバルサウスの分裂策動です。しかし、バイデンの提案は誰からも相手にされませんでした。

金正恩総書記は世界の自主勢力の団結と協力を実現することを強調し、次のように述べています。

「自主性を擁護する党と団体、進歩的諸国は、反帝・自主の旗の下に団結し協力すべきです。

今日、帝国主義者は反帝・自主勢力を抹殺するために手段と方法を選ばずに策動しています。帝国主義者は自主性を志向する国や民族間に不信と軋轢を助長し激化させ、敵対感情をあおって団結できないようにしており、国や地域の紛争

問題に介入してそれを一層複雑にしています。

革命的党と団体、進歩的諸国は反帝・自主の旗印の下に団結し、帝国主義者の狡猾な欺瞞策に乗せられて互いに嫉視反目したり争ったりせず、共通の敵である帝国主義者に反対することに闘争の矛先を向けなければなりません。自主と平等、相互尊重の原則に基づいて大陸別、地域別の協力を強めて世界の自主化偉業の前進に有利な条件を整えなければなりません」

帝国主義の支配に反対し自主、自立、協調の方向にすすむことは確実に現時代の流れとなっています。その前提のうえに、さらに民衆の自主性を完全に擁護する社会を実現するための闘争課題が提起されています。

各国人民が自主性を完全に実現するためには、一国だけではなく世界のすべての国が自主化し、世界の自主化を実現しなければなりません。

自主化する主体は各国人民であり、対象は米帝国主義です。

米帝国主義は冷戦崩壊後、一極化された世界支配をもくろみ自主的な国を攻撃しました。

2002 年 1 月、ジョージ・ブッシュ大統領はイラク、イラン、朝鮮を名指しして“悪の枢軸”と呼び攻撃の対象にし、2003 年、イラクは米帝国主義の攻撃によって崩壊し、指導者は殺害されました。イランにたいしても制裁を強め、中東において軍事的緊張を高めてきました。

朝鮮にたいしても一貫して圧殺策動をおこない、日本を従属させて攻撃態勢を整え、核兵器を搭載した原子力潜水艦を傀儡地域に派遣し攻撃の機会をうかがっています。

冷戦崩壊後、帝国主義はありもしないことを事実であるかの

ように宣伝し、その国に対する敵対的な態度を正当化してきました。

とりわけ近現代において、米国はプロパガンダを駆使して世界中で内乱を意図的に引き起こし、自主的な政権を崩壊させたのち傀儡を押し立てて支配してきました。ウクライナの政変はその最たるものです。

米国が仕掛けたプロパガンダ戦は主に、AI を使って短時間に膨大な量の書き込みをおこない西側に有利になる世論を誘導することに表れています。ウクライナ紛争において、彼らは“ロシアが民間人を多数殺害した、劣化ウラン弾を使用した、原子力発電所にミサイルを撃ち込んだ”等のプロパガンダを執拗に繰り返してきました。しかし、ロシアがおこなったとされる“蛮行”なるものはウクライナの自作自演だということが暴露されています。

ウクライナ紛争は、ロシアが NATO の東方拡大を阻止して自国を防衛し、ウクライナ人民を守るため特別軍事作戦を展開したものです。

米欧帝国主義はプロパガンダを流し続け大量の殺戮兵器を投下して、ウクライナ人民を犠牲にしながら戦争を継続しています。

こんにち、世界の自主勢力の力はかつてなく大きくなり、弱体化し滅亡の道を転落する米帝国主義は最後のあがきを見せています。

反帝自主のたたかいは各国、各地域の団結の強化と相まって大きな力となり、新しい世界を早い速度で実現していくでしょう。

社会主義の優位性と社会主義建設の模範

現代は自主性の時代、民衆の時代であり、各国人民が自分に

誇りをもって社会の進歩と発展のためにたたかっています。

国の主人としての自覚をもって立ち上がった各国人民にもっとも必要なのは、社会発展の正しい方向、未来社会について知ることです。

金日成主席は民衆の自主性を完全に実現する社会は社会主義共産主義社会であることを明示しています。

「歴史的経験は、帝国主義の植民地的従属からぬけだした人民は、必ず社会主義の道へ進まなければならないことを示しています。独立をかちとった人民は、外国帝国主義と国内反動勢力の破壊策動を退け、帝国主義の植民地支配機構を粉砕し、帝国主義と国内反動層の経済的基盤を奪って一掃し、革命勢力を強化して進歩的な社会制度をうち立て、自立的民族経済と民族文化を建設するため積極的にたたかわなければなりません。こうしてのみ、資本主義が不可避的にへてきた苦しい陣痛と災難の歴史を繰りかえすことなく、人民の自由と幸福、民族独立と繁栄への近道にそって力強く前進することができます」

「社会主義・共産主義建設の偉業は、人民大衆の自主性を完全に実現するための聖なる偉業です。

自主性を完全に実現するのは、人民大衆の宿望であり、最高の理想であります。人民大衆が自己の宿望と理想を実現するためには、旧社会の搾取制度を革命的に変革し、社会主義の道に進み、社会主義・共産主義建設の偉業を最後までなしとげなければなりません」

現時代において自国と世界を自主化し、社会主義、共産主義社会を建設することの思想的理論的基礎は金日成・金正日主義をおいて他はありません。

マルクスは 19 世紀中葉のヨーロッパにおいて、労働者階級が過酷な搾取を受けている現実を見る中で、資本主義社会を打倒し労働者階級のための社会をつくるための思想を明らかにしました。

レーニンは帝政ロシアで政治の腐敗がすすみ、民衆が飢餓に苦しむ社会状況のなかで、1917 年 10 月、ロシア革命を勝利させて社会主義政権をうちたてました。

初期のソ連は労働者よりも農民が多数を占める農業国家であり、農民問題の解決が課題となりました。しかしレーニンは政権奪取後、新しい社会建設に十分とりくむ時間もないまま亡くなりました。

マルクス・レーニン主義は労働者階級の解放のための進歩的な思想としてうちたてられましたが、社会主義政権を樹立した後、どのように革命をおしすすめていくのかについては明らかにすることはできませんでした。

ソ連・東欧の社会主義が崩壊したのは、人民大衆を社会主義建設の主人としておしたてることができず、また、人民に服務し人民に依拠する活動家を育成できなかったことも要因といえます。

金正日総書記は、従来の労働者階級の革命理論では、指導方法に関する体系化された理論が解明されていない、社会主義制度をうちたてた後、引き続き社会主義を発展させ、共産主義社会を実現するための思想理論は、金日成主席の創始したチュチェ思想によってはじめて明らかにされたと述べています。

金日成同志は、党の路線と政策が的確で、それを実行するための方途が正しく講じられた後は、幹部がどんな活動方法と活動作風をもって大衆を導いていくかによって革命と建設の成否が決まると述べています。

指導方法を確立することは、労働者階級の党の政治的指導で重要な意義をもっています。

しかし、従来の労働者階級の革命理論では、指導方法に関する体系化された理論が解明されていませんでした。マルクスとエンゲルスの学説には指導方法に関する理論が見られません。レーニンは指導方法に関する思想を若干提起しましたが、断片的であり、理論化されていませんでした。人民大衆は、底知れない力と知恵をもっています。この世に人民大衆より力と知恵のある者は存在しません。人民大衆の力を引き出すなら、いかなる困難な革命課題も立派になし遂げることができます

金日成同志は、革命は人民大衆のための事業であると同時に人民大衆自身の事業であるので、革命と建設で勝利をおさめるには、何よりもまず人民大衆を目覚めさせ、彼らを革命と建設に正しく導かなければならないと述べました。それゆえ、金日成同志は、人民大衆を党のまわりに結束し、革命に立ち上がらせる指導方法の問題に特に関心を払ったのです。

指導方法に関する問題は、金日成同志がチョンサンリ精神、チョンサンリ方法を創始することにより完璧に解明されました。

チュチェ思想の正当性と威力、チュチェ思想に導かれる朝鮮社会主義の優越性は、民衆の自主性を完全に実現するためにたたかう世界人民の行く手を明るく照らしています。

金日成主席は抗日革命闘争を開始した当初から、当面の民族解放を勝ち取るたたかいをおこなうのみではなく、社会主義共産主義革命をおこなうことを展望していました。

1930 年 6 月 30 日、金日成主席は卡倫会議において「朝鮮革命の進路」と題する演説をおこないました。

演説では、朝鮮革命の当面の課題が反帝反封建民主主義革命

であると明らかにし、日本帝国主義を打倒するためにすべての反日愛国勢力を結集すること、革命的な党を創立するために基層党組織から建設する準備活動をおこなうことを提起しました。

金日成主席は、朝鮮が民族解放をかちとった後も革命をつづけ、社会主義共産主義革命もおこなうことを展望して、次のように述べています。

「われわれは反帝反封建民主主義革命を遂行した後、それにとどまることなく革命をつづけ、社会主義・共産主義社会を建設し、ひいては世界革命をも遂行しなければなりません」

金日成主席は、社会主義制度樹立後、どのようにして人民大衆の自主性を実現し、社会主義の完全勝利をかちとるのかを理論的に明らかにするとともに、社会主義建設を着実におしすすめ、その完全勝利をたぐりよせる実践をつみあげていきました。

金日成主席が「資本主義から社会主義への過渡期とプロレタリアート独裁の問題について」や「社会主義の完全な勝利のために」等の著作のなかで明らかにされた問題は、社会主義共産主義を完全に勝利させるための指針となっています。

金日成主席は人民政権を強化し、その機能と役割をたえず高め、思想、技術、文化の三大革命を徹底的に遂行することが社会主義共産主義建設の総路線であると提示しました。

思想、技術、文化の三大革命をおこなうことにより、人々の間にあるさまざまな差をなくし、社会主義を強化発展させ、共産主義をきずいていくことができます。

金日成主席は、厳しい軍事的緊張のなかでも、人民の幸福のため、社会主義建設の闘争をゆるぎなくおし進める立場と意志を明らかにしました。

金正日総書記は、金日成主席の革命思想を思想、理論、方法の全一的体系である金日成主義であると定式化しました。

金日成主義はチュチェ時代の要求を反映して登場した、新しく独創的な革命思想です。

金日成主義は一言で言ってチュチェの思想、理論、方法の体系です。言いかえると、チュチェ思想とそれによって明らかにされる革命と建設に関する理論と方法の全一的な体系です

金正日総書記の思想理論的業績により、世界人民は現時代の革命思想である金日成主義を学び、革命を勝利させるための思想、理論、方法を手にすることができるようになりました。

金正日総書記は金日成主席が逝去された後も、金日成主席の革命偉業を引き継ぎ、一貫して社会主義強国の建設にまい進しました。

1990 年代初め、ソ連・東欧の社会主義は崩壊し、度重なる自然災害もあり、朝鮮は困難な状況におかれていました。米帝国主義は武力をもって朝鮮を攻撃、崩壊させようともくろみ、軍事的緊張を高めていきました。

金正日総書記は核兵器と長距離弾道ミサイルも保有して、先軍政治をおこなうことで米帝国主義の軍事行動に真正面から立ち向かいました。

先軍政治は、人民軍が自国の防衛をおこなうとともに、社会主義建設のもっとも困難な部署のたたかいを引き受け、社会主義建設の高揚をもたらすための政治です。

金正日総書記は困難な状況のもとでも、社会主義強国を必ず建設し、人民大衆が幸せに暮らすことのできる明日のために生きようと呼びかけました。

金正恩総書記は、金日成主席と金正日総書記の思想は分か

ちがたく、一体のものであるとして金日成・金正日主義を定式化し、その本質を人民大衆第一主義であると明らかにしました。

金正恩総書記は、人民の幸福を実現するために生涯をささげた金日成主席と金正日総書記の思想の真髄を次のように述べています。

「偉大な金日成・金正日主義は本質的に人民大衆第一主義であり、わが党の存在方式は人民に奉仕することです」

人民大衆第一主義は、人民大衆を革命と建設の主人としておしたて、人民大衆に依拠して活動し、人民大衆に滅私奉仕するという朝鮮労働党の政治理念です。こういうことから朝鮮労働党は「すべてを人民のために、すべてを人民大衆に依拠して！」というスローガンを党活動の原則、存在方式としています。

今日、朝鮮においては社会主義の完全勝利、共産主義社会を展望した社会主義建設が速いスピードでおしすすめられています。

人民を主人、担い手として活躍させる政治は、人民の支持と信頼を得て、人民のさらなる力と知恵を生んでいます。

2021 年 4 月に開催された朝鮮社会主義愛国青年同盟第 10 回大会に送った書簡において、金正恩総書記は、今後 15 年内外に全人民が幸福を享受する隆盛繁栄の社会主義強国を実現する展望計画を明らかにしました。

米帝国主義が朝鮮圧殺策動を継続しているなか、金正恩総書記は、米国本土を射程に入れた ICBM（大陸間弾道弾）「火星 18 号」の試射を成功させました。

朝鮮は高度の科学技術水準をもって ICBM 試射を見事に成功させており、その威力の前に米帝国主義はどうすることもできずにしています。

朝鮮の ICBM 試射の成功は、ひとり朝鮮だけではなく、自主

化と社会主義をめざす世界人民共同の喜びであり、大きな励ましとなっています。

＊　＊　＊

金日成主席が創建し、金正日総書記が発展させ、金正恩総書記が新しい段階へと導く朝鮮民主主義人民共和国の未来は輝かしいものです。

朝鮮は世界のなかで唯一、社会主義の完全な勝利に向かって発展しています。

私は朝鮮民主主義人民共和国の創建 75 周年を熱烈に祝賀するとともに、チュチェ思想を世界に普及し各国人民の自主性を実現するための活動をいっそう強めていくことを誓いながら、報告を締めくくります。

社会主義強国建設の始原を開いた方

（朝鮮民主主義人民共和国創建 75 周年に際して）

セネガル　スレイマン・バフ

親愛なる友人のみなさん！

朝鮮民主主義人民共和国創建 75 周年を熱烈に祝賀します。

今日、偉大なチュチェ思想の国である朝鮮民主主義人民共和国は長きにわたる 75 年間、チュチェ思想を具現して人民が国家と社会の主人となり、人民の要求と理想が立派に実現される国、自主、自立、自衛が実現された社会主義強国として地球上に浮上しました。

私は意義深い演壇で朝鮮の社会主義強国の始原がどのように開かれたかについて討論することができたことを光栄に存じます。

強国建設はすべての国と民族の一致した念願であり、現代の基本潮流です。

発展と繁栄を志向する多くの国と民族が絶え間ない発展を遂げるために競争的に疾走している複雑多難な現世界は、真の強国とはどういう国であり、強国を建設するもっとも正しい道はどこにあるかという深刻かつ切実な問題を提起しています。

人類が提起する焦眉の問題に史上初めて完璧な解明を与え、一生涯労苦をいとわず、心血を注いで強国建設の草分けの道を開いた方は金日成主席でした。

主席は朝鮮民主主義人民共和国をもっとも自主的な国家に建設し、強化発展させました。

自主は主席の一生涯の政治信条であり、革命実践であり、社会主義強国建設の根本原則でした。

自主を国と民族の生命とした主席は朝鮮革命の錨をあげた時と新しい祖国建設の初期にすでに朝鮮民主主義人民共和国の具体的実情、敵対勢力の反共和国策動の長期性と列強間の矛盾と対決など、国家建設と活動に影響を及ぼすすべての要因を明哲に見通し、自主を国家建設の生命線、礎石として押し立てました。

主席は事大主義と教条主義、外部勢力の強権と圧力を断固排撃し、国家建設と活動で独自性と自主性を徹底的に堅持し、すべての問題を朝鮮革命の要求と朝鮮人民の利益、朝鮮の実情に即して主体的に解決しました。

主席の卓越かつ賢明な指導は朝鮮革命の強力な主体を築き上げ、朝鮮民主主義人民共和国を自主、自立、自衛の社会主義砦として強化発展させ、国家の国際的権威と尊厳を高く轟かすようにしました。

主席は朝鮮民主主義人民共和国を人民大衆中心の社会主義国家に建設し、強化発展させました。

人民は社会主義国家の根本であり、基盤であり、その発展の担当者です。国家建設と活動が人民の要求と利益を擁護実現し、人民のために忠実に奉仕することに徹底的に志向、服従されてこそ、革命と建設が成功裏に推進され、社会主義の生命力と優越性が高く発揮されることができます。

人民大衆中心の社会主義国家を建設し、その優越性を高く発揮させることに強国建設の正しい道があります。主席は以民為天の崇高な思想と志を国家建設に確実に具現して史上初めて人民大衆が国家と社会の主人となり、国家と社会のすべてのものが人民大衆のために奉仕する真の人民の国家を建設しました。

歴史と現実は人民をこの世でもっとも貴重で強力な存在として押し立て、人民を限りなく愛し、人民の要求と利益をあくまで実現していく国こそもっとも強大で生命力のある国家であることを明白

に示しています。

主席は国家活動の全般にたいする党の指導を全面的に強化しました。党の指導は社会主義国家建設の本然の要求であり、国家活動の生命線です。

社会主義国家は人民大衆の要求と利益の体現者である党の指導の下でのみ人民の奉仕者としての使命を立派に遂行することができ、社会生活のすべての部門と分野にたいする統一的指導を実現し、全般的社会主義建設のための闘争を正しく行うことができます。

早くから国家建設にたいする党の指導を国家の存亡、人民の運命と直結した重大な問題として見なした主席は、朝鮮労働党を社会主義政権の指導的力量、国家を党の路線と政策の徹底的な執行者、貫徹者として強化、発展させてきました。

主席の賢明な指導の下に共和国政権は朝鮮労働党の革命的な指導思想と科学的な戦略戦術に依拠して国家と社会にたいする統一的な指導を十分に実現することにより、人民大衆の真の奉仕者としての使命を立派に遂行し、それによって世界を席巻する世界的な政治風波と今日の厳しい環境と条件でも人民の運命を固守し、強国建設を力強く前進させています。

自主と以民為天を国家建設の生命線とし、党の指導を通じてそれを国家建設と活動に徹底的に具現してきた主席の不滅の国家建設の業績は歳月が流れるほどなお大きな生命力を発揮しており、強国建設の貴重なモデルとなっています。

金正日総書記は社会主義強国建設の始原を開き、祖国と人民の前に、世界と人類の前に出色の貢献をした金日成主席の不滅の業績を末永く輝かせるために金日成主席を共和国の唯一の主席、永遠なる主席に高く戴くことを法化した金日成憲法を採択するようにしました。

希世の偉人たちの富強な祖国建設偉業を輝かしく継承している金正恩総書記の賢明な指導によって朝鮮民主主義人民共和国は今後も永遠に不抜の社会主義強国として全世界に燦然と光を放つでしょう。

私は討論を終えながら人民大衆中心の社会主義強国を建設した金日成主席と金正日総書記、そして今日朝鮮をより強力な社会主義国家に建設している朝鮮民主主義人民共和国国務委員長である金正恩総書記に最大の栄光ともっとも崇高な敬意を表します。

朝鮮民主主義人民共和国とチュチェ思想

レジオン・ドノル勲章受勲者 教授 エドモン・ジューブ

朝鮮民主主義人民共和国は創建75周年を迎えます。

共和国の去る70余年を振り返ると今日の社会主義朝鮮の将来のために金日成主席がどれほど大いなる業績を積み上げたかについてよく知れるでしょう。

金日成主席は朝鮮民主主義人民共和国の党と国家、軍隊の慈父であります。

主席は国が日本帝国主義の支配下にある時、革命の闘争に身を投じて朝鮮人民自らの力で国を解放させる路線を打ち出しました。

主席の指導によって朝鮮人民は一枚岩のように団結して日本の支配に終止符を打つための10余年間の武装闘争を繰り広げて1945年8月、とうとう国を解放しました。

主席はまた、朝鮮民主主義人民共和国の導き手である朝鮮労働党を創建しました。

主席は日本帝国主義に反対する革命闘争を繰り広げていた時期にすでに党創建の準備を整えました。

主席は党中央の結成を宣言する前に将来創建される党の基礎を築き、拡大強化する必要性について常に強調しました。

朝鮮労働党は国が解放されてわずか2ヶ月もたたない1945年10月に創建されました。

その時から金日成主席の指導の下に朝鮮労働党は朝鮮人民の全ての勝利の組織者、導き手としての役割を立派に果たしました。

国が解放された後、金日成主席はソ連式でも、アメリカ式で

もないほかならぬ朝鮮式の民主主義の道を明らかにしました。

主席は土地改革のような民主改革を次々と実施して建国のしっかりとした基礎を築きました。

金日成主席の指導の下に 1948 年 9 月、とうとう東方で初の人民民主主義国家である朝鮮民主主義人民共和国が創建されました。

金日成主席は朝鮮人民軍を創建しました。

1950 年代初、主席の賢明な指導によって創建されて間もない朝鮮民主主義人民共和国は帝国主義連合勢力の武装攻撃を退けて民族自主を成し遂げるために闘争する世界の多くの国に大きな影響を与えました。

金日成主席は国家発展において永遠に堅持すべき道を明らかにしました。

チュチェ思想は主席の一生のこもった政治思想です。東西方が二つの陣営に分けられ、世界が激しい政治的軍事的対立の中に巻き込まれている時、金日成主席は徹底的に誰かのの操縦も受けない社会主義の道を選択しました。

主席はチュチェ思想を指導的指針にして原則的立場を堅持し、自主路線を恒久的に固守しました。

主席の指導の下に朝鮮民主主義人民共和国は世界自主化偉業を導いて 20 世紀を自主時代として輝かせることに貢献しました。

政治における自主、経済における自立、国防における自衛は朝鮮民主主義人民共和国の発展方式を決定する主要思想です。

主席は他の社会主義諸国のようにコメコンの加入に反対し、自立的民族経済を建設することを選択しました。

ソ連と東ヨーロッパの社会主義諸国が次々と崩壊されるとき、朝鮮民主主義人民共和国は社会主義の旗印を高く掲げて自分が選

択した道に沿って依然としてゆるぎなく進みました。

それは、徹頭徹尾、金日成主席が打ち出した自主路線の結果であります。

人民大衆中心の社会主義制度を樹立して人民の幸福のためのしっかりとした土台を築いたのもやはり金日成主席の業績となります。

主席は人民を主人として押し立て、全てを人民のために奉仕するようにしました。

主席の指導の下に国家は人民に自体負担で食衣住を保障し、無料治療制と無料義務教育制を実施しました。

主席はまた、国家が人民のための社会主義施策をたゆまなく強化するようにしました。主席は世界で始めて、税金制度を廃止しました。

主席は領袖、党、大衆の一心団結を実現して人民大衆中心の社会主義に永遠なる生命力を与えました。

今日、複雑な国際的環境と情勢の下でも朝鮮民主主義人民共和国は相変わらず人類解放偉業、社会主義偉業の完遂のために前進しています。

金日成主席は自主時代の永遠なる領袖であります。

主席は全世界の自主化偉業の実現のための戦略と方途を明らかにしました。

主席は、この闘争で主な目標は世界帝国主義であり、帝国主義を打倒するためには自主のために、社会の進歩のために闘う全ての反帝勢力が一つに団結されなければならないと教えました。

主席が提示したスローガン「自主性を擁護する世界の人民は団結しよう！」は 20 世紀の後半期、世界の自主化偉業のための闘いで新たな飛躍をもたらした旗印となりました。

主席が人類の自主化偉業に積み上げた偉大な業績は金正日総書記によって輝かしく継承され、今日は金正恩総書記によっていっそう豊富化されています。

金正日総書記は「思想も技術も文化もチュチェの要求どおりに！」「われわれの方式で生きよう！」という有名なスローガンを打ち出し、朝鮮革命を自主の道一筋へ導きました。

いつも自主の旗を高く掲げて進んできた朝鮮民主主義人民共和国の勝利の歴史はもう一人の傑出した金正恩総書記の指導によって変わりなく続けられています。

朝鮮民主主義人民共和国が成し遂げている連続的な成果は全世界を震撼させ、これは朝鮮労働党の自主的革命路線と勝利を呼ぶ荘厳な砲声の貴い結晶体であります。

自主の旗を高く掲げてチュチェ朝鮮の尊厳と威力を全世界に輝かす金正恩総書記の指導の下に朝鮮民主主義人民共和国はこれからも永遠に自主の砦、不抜の強国としてさらに燦然と輝くでしょう。

朝鮮民主主義人民共和国はチュチェ思想が具現された真の人民の国である

バングラデシュ 博士 ザハンギル・カン

同志と友人の皆さん

朝鮮民主主義人民共和国の創建 75 周年に際して私は、私自身とわれわれのバングラデシュ先軍政治研究グループと先軍研究国際中央委員会とバングラデシュの新聞「デリー・フォーク」の名で祝賀を送ります。

チュチェ思想の特徴は一言で、人間中心の哲学思想であるということです。

チュチェ思想が人間中心の哲学思想であるというのは、チュチェ思想が人間を中心に哲学の根本問題を提起し、人間を中心に世界に対する見解と立場を明らかにしたということです。

チュチェ思想は、世界と人間との関係、世界における人間の地位と役割に関する問題を哲学の根本問題として新しく提起し、人間があらゆるものの主人であり、すべてを決定するという哲学的原理を明らかにしました。

世界における人間の地位と役割に関する問題は単なる人間問題ではなく、人間を中心にして提起された世界観に関する問題であります。

こういうことによって、上記の問題に解答を与えたこの原理が人間中心の原理となり、同時に人間の運命開拓の原理ともなります。

チュチュ思想はまた、世界は人間によって支配され改造され、人間の主動的な作用と役割によって発展し、人間に奉仕する方向

へ人間の発展に相応して発展するという世界に対する主体的見解に基づいて人間の利益から出発して世界に対応し、人間の活動を基本にして世界に対応すべきであるという世界に対する新しい見解と立場を明らかにしました。

　このように従来のすべての哲学思想と根本的に区別されるチュチェ思想の特徴は、人間を中心にして哲学の根本問題を提起し、人間を中心にして世界に対する観点と立場を明らかにしたことです。

　朝鮮民主主義人民共和国社会主義憲法は 1972 年 12 月 27 日に採択されました。これは、人民のための憲法だといえます。社会主義憲法はチュチェ思想を具現している人民的な法典です。

　社会主義憲法は、朝鮮民主主義人民共和国はチュチェ思想を国家建設と活動の指導的指針にすると明らかにしました。

　チュチェ思想は何の従属や束縛もなく自分の運命の主人として生き発展しようとする社会的人間の根本属性である自主性を実現することを最も重要な課題として打ち出しました。

　社会主義憲法は、朝鮮民主主義人民共和国の主権は労働者、農民、兵士、勤労インテリにあり、勤労人民は自分の代表機関である最高人民会議と地方各級人民会議を通じて主権を行使すると明らかにしました。

　社会主義憲法は、人民に物質的・文化的生活を保障するための条項とそのための該当の措置を明らかにしました。

　国家は、すべての学生・生徒を無料で学ばせ、大学の学生には奨学金を支給し、社会教育を強化し、すべての勤労者が学習できるあらゆる条件を保障します。

　国家はすべての就学前児童を託児所と幼稚園で国家と社会の負担で保育します。国家は全般的無料治療制を強化、発展させ、医師区域担当制を強化し、予防医学的方針を貫徹して人命を保護

し、勤労者の健康増進をはかります。

公民の労働に対する権利と休息に対する権利は法的に保証されます。

労働能力を有するすべての公民は、希望と才能に応じて職業を選択し、安定した職場と労働条件を保障され、休息に対する十分な権利と条件を保障されます。この権利は、労働時間制、公休日制、有給休暇制、国費による静養・休養制、たえず拡充される各種の文化施設などによって保障されます。

人民の絶対的な支持を受けている朝鮮民主主義人民共和国社会主義憲法は去る 50 余年間、革命と建設の力ある推進力となりました。

これは、金日成主席と金正日総書記の指導の下に試練と困難を乗り越えて数十年間奇跡と革新を創造した朝鮮人民の闘争過程を通じてはっきりと証明されました。

金正恩総書記の指導の下に自力更生の精神でさらにしっかりと武装した朝鮮人民は、敵対勢力の依然として強化されている孤立・圧殺策動を打ち破って社会主義強国建設の偉業を完遂するため日増しに新しい奇跡を創造しています。

私は、朝鮮民主主義人民共和国が国家建設に関する金日成・金正日主義の思想で社会主義強国建設において必ず勝利を収めるものと確信します。

自主、自立、自衛の社会主義朝鮮

南アフリカ ウンパパ・カンヤネ

今日、われわれは複雑多難な国際情勢とあらゆる挑戦の中でも国と民族の自主権と尊厳を守るための世界の進歩的人民の闘争が力強く繰り広げられている歴史的な時期に朝鮮民主主義人民共和国創建 75 周年を迎えます。

朝鮮民主主義人民共和国の 75 周年の歴史は、強力な社会主義国家を樹立し、輝かせた不世出の偉人たちの賢明な指導のもとに、チュチェ朝鮮の尊厳と威容がはっきり誇示された勝利と栄光に満ちた旅程です。

チュチェ思想を創始し、それを具現して朝鮮民主主義人民共和国の自主的発展をめざす草分けの道を切り開いた金日成主席は国家建設と活動において自主、自立、自衛の原則を一貫して堅持してきました。

全ての問題を朝鮮人民の利益と国の具体的な実情に合わせて主体的な立場で解決していく主席の指導は、朝鮮民主主義人民共和国が社会主義建設で勝利を収め、不敗の社会主義強国に転変させた根本源泉でした。

金日成主席は国家建設と活動において自主的立場を確固と堅持し、自立的民族経済のしっかりした土台を築き上げました。

外部勢力の強権と事大意識にどっぷりつかった者の真っ向からの挑戦を断固排撃し、革命と建設において主体を確立するようにした主席の大勇断は人民の力にたいする信頼から下した歴史的快挙でした。

実に主席は、政治における自主、経済における自立、国防における自衛の礎に立った不敗の初の国家実体を建設した傑出した

領袖です。

　革命指導の初期から国家活動において自主性を堅持し、自主政治を実現することに重大な意義を付与した金正日総書記は「思想も技術も文化もチュチェの要求どおりに！」「われわれの方式で生きよう！」というスローガンを打ち出し、朝鮮革命を自主の道に導きました。

　金正日総書記は帝国主義者の悪辣な反社会主義策動によって各国で社会主義が崩壊された際、自主の旗じるし、先軍の旗じるしを高く掲げて朝鮮民主主義人民共和国を世界的な軍事強国に転変させ、経済強国建設のしっかりした土台を築き上げました。

　国家と人民の自主的な尊厳と利益、子孫万代の幸福はすなわち強力な力によって保証されるというのが総書記の不変の持論でした。

　金正日総書記は自主の革命路線で寸分の脱線も許さず、国の自主権と民族の尊厳を守り、朝鮮人民を自立的民族経済の威力をよりいっそう発揮させるための闘争へと力強く呼び起こし、帝国主義者の孤立圧殺策動を水泡に帰させました。

　政治における自主、経済における自立、国防における自衛でもって尊厳のある朝鮮民主主義人民共和国の力を非常に増大させた金正日総書記は、帝国主義者と現代社会民主主義者の圧力策動をそのつど粉砕し、全てを朝鮮革命と朝鮮人民の利益に即して自力でおこなうようにしました。

　こんにち、自主、自立、自衛の偉業は傑出した思想家・理論家、希世の政治家、鋼鉄の統帥のみが堅持し、完遂していける偉人の偉業として輝いています。

　金日成主席と金正日総書記の愛国遺産である朝鮮民主主義人民共和国は朝鮮労働党の総書記である金正恩同志の指導のも

とに、その尊厳と強大さを全世界にとどろかしています。

金正恩総書記は国家建設と活動においてわが国家第一主義を高く発揚させるという思想をはじめ社会主義強国建設の綱領的指針を提示し、国の国防力を最強に固めました。

総書記のエネルギッシュな指導によって時代を代表する新しい精神と速度が創造され、朝鮮民主主義人民共和国の国力は非常に強化されました。

金正恩総書記は歴史的な施政演説で、朝鮮民主主義人民共和国は自主を朝鮮革命の生命、国家建設の大本とし、事大と教条、外部勢力の強権と圧力を断固排撃し、革命と建設を朝鮮式に前進させてきた金日成主席と金正日総書記の賢明な指導の下に、自主、自立、自衛の社会主義国家として建設され、発展してきたのであり、今も自主の強国として世界にその尊厳と威容を高くとどろかせていると闡明しました。

朝鮮人民の長年の宿望をかなえ、チュチェ朝鮮を強力な力を持つ世界的な強国として急浮上させたことこそは、金正恩総書記が築き上げた功績の中の功績です。

朝鮮人民は総書記の賢明な指導の下に自力更生を繁栄の宝剣としてしっかりとらえ、社会主義強国建設の各部門で偉勲をとどろかし、自立的民族経済の威力を力強く誇示しています。

金正恩総書記を革命の陣頭に高くいただき、歴史の反動たちのあらゆる挑戦を打ち砕き力強く前進する朝鮮人民の進路を遮る力はこの世にないでしょう。

われわれの南アフリカのガウテン州金日成・金正日主義研究グループの全てのメンバーは金日成主席と金正日総書記の思想と偉業を継承している金正恩総書記の賢明な指導の下に朝鮮式社会主義が引きつづき勝利的に前進することを確信しつつ、今

後もチュチェ思想研究普及活動をよりいっそう積極的に展開していくでしょう。

朝鮮民主主義人民共和国は自立的民族経済と自衛的国防力を建設した偉大な国である

南アフリカ アムブロセ・ウムニシ

私は朝鮮民主主義人民共和国創建 75 周年に際して行われるインターネット討論会に招請してくれたことに心からの謝意を表します。

私はまず、意義深い朝鮮民主主義人民共和国創建 75 周年を迎える全朝鮮人民に南アフリカ金日成・金正日主義研究全国委員会の全てのメンバーを代表して最も熱烈な祝賀のあいさつを送ります。

意義深いこの日に際して、行われる討論会に「朝鮮民主主義人民共和国は自立的民族経済と自衛的国防力を建設した偉大な国」の題で私の討論文を提出するようになったことは大きな栄光となります。

朝鮮民主主義人民共和国は自体のしっかりとした経済力と軍事力を整えるのを自主独立国家建設の根本要求とし、新しい社会建設の当初から不屈の闘争を繰り広げて国の自主権と民族の富強繁栄を保証する強力な経済力、軍事的土台を築きました。

今日、朝鮮民主主義人民共和国が帝国主義者の悪辣な反社会主義、反共和国策動に断固と対処しながら朝鮮革命の根本利益と国の尊厳を確固と固守しているのは強力な自立的民族経済と自衛的国防力を建設したからであります。

まず、朝鮮民主主義人民共和国が自立的民族経済を建設した奇跡の国であることについて話します。

朝鮮民主主義人民共和国は自己活動の全過程に朝鮮人民の切実な要求と朝鮮の具体的実情に即して自国人民の力と資源、技術

に依拠する自立的民族経済建設路線を提示し、徹底的に具現して国の経済土台と人民生活を弛みなく向上させてきました。

金日成主席は不滅のチュチェ思想を創始し、それに基づいて独創的な自立的民族経済建設に関する思想と理論を打ち出し、その実現のための闘争を賢明に導いて朝鮮民主主義人民共和国を自立で繁栄する社会主義国に建設しました。

金日成主席のずば抜けた先見の明と賢明な指導によってもたらされた自立的民族経済の生命力は世界的に経済的波動が絶え間なく続き、朝鮮に対する帝国主義者の侵略策動と経済封鎖が続けられる中でも朝鮮の社会主義が勝利だけを記している今日の現実がはっきりと実証しています。

自立的民族経済を建設するのは国と民族の興亡に関わるもっとも重要な問題であります。

経済建設が国と民族を単位にして行われる条件の下で、どんな国と民族であれ、自力更生の原則で自立的民族経済を建設してこそ政治的独立を保障し、国の発展と民族の繁栄を成し遂げることができます。

朝鮮民主主義人民共和国は自力更生の旗を高く掲げて強固な自立的民族経済を建設してはじめて帝国主義者の前代未聞の経済的制裁と世界的な厳しい自然災害、特に現時期、悪性ウイルスの伝播状況の中でも微動だにせず、社会主義の全面的建設を力強く推し進める奇跡を創造しています。

金日成主席がもたらした朝鮮の自立的民族経済の土台は金正日総書記の賢明な指導によってよりしっかりと打ち固められました。

祖国と人民の運命を一身に担った金正日総書記は国の科学技術を先端水準に引き上げて造成された難局を切り抜ける確固たる

決心を抱いて歴史に類を見ない強行軍の道を歩み続けて自立的民族経済の土台をしっかりと打ちかためました。

金正日総書記の不滅の指導によって朝鮮民主主義人民共和国の全ての単位では自力更生の旗印の下に先端突破の熱風が激しく燃え上がり、その過程に朝鮮民主主義人民共和国の自立的民族経済の土台はさらに強化されました。

1990 年代に入って社会主義市場がなくなり、帝国主義者の悪辣な反共和国圧殺策動と連続的な自然災害によって経済建設は厳しい困難にぶつかりましたが、朝鮮は自立経済のしっかりとした土台を築いたので人工衛星の製作国、発射国の地位に堂々と上がるようになりました。

2000 年代に世界を襲った大規模の金融危機で巨大銀行と独占体が倒れ、そのあおりで数多くの国があえいでいる時も朝鮮民主主義人民共和国だけはびくともしませんでした。

今日、朝鮮人民は敬愛する金正恩総書記が朝鮮労働党第 8 回大会で示した新しい国家経済発展 5 カ年計画を貫徹するために力強い闘争を繰り広げています。

今日、朝鮮で金属工業と化学工業をはじめ基幹工業部門の経済土台が強化され、人民生活向上のための平壌市 5 万世帯分の住宅建設と農村住宅建設、大規模の温室農場建設などが本格的に繰り広げられているのはまさに、さる数十年間にかけて打ち固められた自立的民族経済の強力な土台があるからです。

金日成主席と金正日総書記、金正恩総書記がもたらした自立的民族経済の土台があるがゆえに朝鮮民主主義人民共和国はこれからもより隆盛・繁栄するでしょう。

次は、朝鮮民主主義人民共和国は強力な自衛的国防力を建設した奇跡の国であることについて話します。

朝鮮民主主義人民共和国が戦後、帝国主義者の侵略策動の中でも朝鮮半島と世界平和を固く固守し、敵対勢力との激しい政治的・軍事的対決で連戦連勝をもたらし、国の自主権と安全、朝鮮人民の幸福をしっかりと守ることができたのは誰も手出しができない無敵の軍事力を持っているからです。

数十年間、打ち固めてきた朝鮮の自衛的国防力は帝国主義を容赦なく懲罰する正義の宝剣、チュチェ朝鮮の輝かしい未来を保証する磐石の砦となり、朝鮮民主主義人民共和国はこの世の何人も手出しができない不敗の軍事力に依拠して社会主義偉業を勝利的に前進させています。

朝鮮民主主義人民共和国は帝国主義者の日増しに悪辣になる核戦争脅威に対処するための国防力強化において驚異的な出来事を連続的に収めています。

1 世紀前までも自分を守る力がなかったせいで、亡国の民の悲しみにあえいでいた朝鮮民族が今日は強力な自衛的国防力を自分の手で打ち固め、尊厳高く英知に富んだ強大な民族としてその威容を全世界に轟かしています。

金日成主席は革命の道に身を投じた当初から自力で武装を解決し、人民の優れた息子と娘で朝鮮人民革命軍を創建して祖国解放の歴史的偉業を成し遂げ、解放後、正規的な革命武力である朝鮮人民軍を創建しました。

また、主席は自体の軍需生産基地を建設するようにし、軍需工業のしっかりとした原料基地を整える活動と国防の科学技術を発展させるための活動を賢明に導いて朝鮮の国防工業を自立的で近代的かつ強力な国防工業に建設しました。

金正日総書記は国防工業を優先的に発展させながら軽工業と農業を同時的に発展させるという先軍時代の独創的な路線を提示

し、先軍政治を社会主義基本政治方式に定立して朝鮮の国防力の発展に不滅の業績を積み上げました。

総書記のエネルギッシュな指導の下に朝鮮人民軍は社会主義を固守する精鋭部隊として徹底的に準備され、いかなる侵略勢力も打ち勝てる強力な攻撃手段と防御手段を兼備した強兵に強化されました。

また、全人民的、全国家的防衛体系がしっかりと打ち固められ、全民武装化の水準がかつてなく高まり、全国要塞化もより完璧に実現されました。

敬愛する金正恩総書記は朝鮮民主主義人民共和国が最強の国家防衛力を完成することに関する戦略的路線を提示し、それを最短期間内に実現するよう導いて祖国の尊厳を誇らしく固守できる確固たる軍事的保証をもたらしました。

朝鮮民主主義人民共和国は 2022 年の一年間に極超音速ミサイル、新型戦術誘導武器、長距離戦略巡航ミサイル、新型大陸間弾道ミサイル「火星砲－17」型の試射などを相次いで成功させて朝鮮半島と東北アジア地域の平和と安全をしっかりと保証できる強力な威力を誇示しました。

南アフリカ金日成・金正日主義研究全国委員会は朝鮮民主主義人民共和国が強力な自立的民族経済と自衛的国防力を整えたことによって尊厳ある国家として世界の前列に堂々と立っているだろうし、平和守護の頼もしい砦としての責任と役割を全うしていくだろうと確信します。

私はこの機会を借りて、金正恩総書記の賢明な指導の下に朝鮮人民が社会主義強国建設においてより大きな成果を収めることを心から願います。

朝鮮民主主義人民共和国創建 75 周年を迎える全朝鮮人民に

今一度熱烈な祝賀のあいさつを送ります。

朝鮮民主主義人民共和国創建75周年万歳！

2023年にチュチェ思想が持つ重要性

ヨーロッパ・チュチェ思想研究所顧問
リン・シニオジウム

チュチェ思想国際研究所は今日、朝鮮民主主義人民共和国創建75周年を迎えて国際討論会を組織しました。

75年間、朝鮮民主主義人民共和国は政治、経済、軍事、外交など全ての分野にかけて敵対勢力が敢行してきた歴史に類を見ない高い強度の圧力と脅威、制裁と封鎖の対象となりました。

この国が直面すべき挑戦はあまりにも残酷かつ危険であるからどの国さえ一日も耐えられなかったでしょう。

しかし、いかなる難関も朝鮮人民の前進を遮り、遅らせることができませんでした。

これをどのように説明できるでしょうか。

私の考えでは朝鮮人民がチュチェ思想でしっかり武装したからだと思います。

チュチェ思想は、人間が世界で主人の地位を占め、世界の変化で決定的な役割を果たすことを明らかにしました。

人民大衆は革命と建設の主人であり、革命と建設を推し進める力を持っています。

言い換えれば、各自は自己の運命の主人であり、自己の運命を開拓できる力を持っています。

これに基づいてチュチェ思想は歴史の主人である人民大衆が自分の力で自己の運命を開拓するために進むべき道を指し示しています。

チュチェ思想は1920年代中葉、20歳もならない年に日本の軍事的占領(1905～1945)から朝鮮と朝鮮人民を解放するための闘

争の道についた金日成主席(1912～1945)によって創始されました。

主席は朝鮮革命が進むべき道を模索していた時期にチュチェ思想を定立し、これを朝鮮革命の全般に具現しました。

植民地奴隷になっていた朝鮮人民はチュチェ思想によって自主独立国家の真の主人になり、自主、自立、自衛の社会主義国を建設しました。

政治における自主、経済における自立、国防における自衛は朝鮮民主主義人民共和国の発展方式を規定する基本思想であります。

チュチェ思想は人民大衆が自然改造と社会発展の主人であることを強調しています。

主席はチュチェ思想に基づいて朝鮮民主主義人民共和国を自主、自立、自衛の社会主義国家に建設しました。

朝鮮民主主義人民共和国の金正日総書記(1942～2011)はチュチェ思想を全一的に体系化し、豊富化させました。

こうしてチュチェ思想は朝鮮民主主義人民共和国の指導思想となり、この思想は国家建設で具体化されました。

チュチェ思想は金日成・金正日主義の基礎を成しています。

金正恩総書記は朝鮮労働党の指導思想である金日成・金正日主義の本質を人民大衆第一主義に規定しました。

世界の社会主義偉業が失敗と危機にあえいでいたさる世紀の末に至って社会主義朝鮮でも状況は同じでした。

諸国で社会主義が崩壊されると、敵対勢力は急いで世界での「社会主義の終焉」を宣布し、攻撃の矛先を社会主義の旗の下に変わりなく前進する朝鮮民主主義人民共和国に集中しました。

それで朝鮮人民は自分の社会主義を守るため類を見ない苦難

の行軍をしなければなりませんでした。
　この激しい対決の中で朝鮮民主主義人民共和国をなくそうとした敵の企図は失敗を免れることができませんでした。
　金正日総書記の先軍政治によって朝鮮民主主義人民共和国の自衛的潜在力は一段と強化されて朝鮮の社会主義を固守し、朝鮮半島と世界の平和と安全を守るようになりました。
　今日、金正恩総書記の指導の下に朝鮮人民はチュチェ思想をより徹底的に具現しており、今もチュチェ思想の要求通り政治における自主、経済における自立、国防における自衛の原則をしっかりと堅持しています。
　まさにここに一心団結の秘訣があります。
　朝鮮民主主義人民共和国は全人民が朝鮮労働党の周りに固く団結された国であります。全党、全軍、全民が自分の指導者である金正恩総書記の周りに固く団結されています。
　金正恩総書記は党中央委員会の各部署に住宅建設と台風と大水による災害復旧活動に動員されることについて、また黄海南道の農業に動員されることについての指示を与えました。
　朝鮮労働党は常にチュチェの原理通り人民大衆に依拠しました。
　金日成主席が実現した自主の原則は金正日総書記の原則でもありました。
　金正日総書記は「思想も技術も文化もチュチェの要求どおりに！」と表現しました。
　人類の自主化偉業に積み上げた金日成主席の業績は金正日総書記と朝鮮民主主義人民共和国の国務委員長である金正恩総書記によって引き続き光を放っています。
　自主の旗印を高く掲げてチュチェ朝鮮の尊厳と生命力を

いつも輝かせた金正恩総書記の指導の下にチュチェの朝鮮民主主義人民共和国は人民の福祉を重んじ、国際舞台で尊敬を受ける自主的で近代的かつ、無敵の巨大な核強国として残っているでしょう。

今、チュチェ思想は現代に最も伝播力の強い思想として世界的範囲で幅広く広まっています。チュチェ思想国際研究所から各大陸と諸国の研究組織にいたるまで一つの組織体系に網羅されたチュチェ思想研究者は奮発しています。

今の国際的環境の中でチュチェ思想の具現は自分の存在を示威し、正義と環境の保護を求める人民にとって重要です。

人類に前途を指し示す思想が人々の心をとらえるのは当然のことであります。

チュチェ思想は世界の自主化偉業の勝利的前進とともに永遠に輝くでしょう。

偉大なチュチェ思想を学んで体得してより広く具現しよう

ギニア民主党・アフリカ民主連合総書記代理
ギニア共和国チュチェ思想研究グループ責任者
オイェ・ベアボギ

みなさん、

チュチェ思想研究組織代表のみなさん、

朝鮮民主主義人民共和国創建 75 周年を迎える意義深いこの時期、ギニア民主党・アフリカ民主連合は朝鮮労働党総書記であり、朝鮮民主主義人民共和国国務委員長であり、朝鮮民主主義人民共和国武力最高司令官である金正恩閣下と英雄的朝鮮人民にもっとも熱烈な祝賀の挨拶を送ります。

われわれは朝鮮労働党の総書記である金正恩同志が 20 世紀のもっとも尊敬する金日成主席によって創始され、金正日総書記によって発展豊富化されたチュチェ思想の継承者して活動しておられることについて祝賀を送ります。

チュチェ思想研究組織代表のみなさん、

今日のこの会合はわれわれにとってチュチェ思想は世界の進歩的人民を勝利と栄光の道へと導いてきたし、また導いているもっとも正しい思想であることを全人類に再度想起させうる一つの立派な契機となります。

朝鮮民主主義人民共和国が 75 年間にわたって宣揚してきた強国の威容と自主的な発展相は、われわれをしてチュチェ思想が真の発展を遂げようとする世界のすべての国家の中でどんなに大きな感化力をもっているかをはっきり示しています。

われわれにとって朝鮮民主主義人民共和国創建 75 周年を慶祝することは、闘う人民が進むべき自主的な前途を示すチュチェ思想の正

当性と生命力を確認する機会となります。

チュチェ思想研究組織代表同志のみなさん、

チュチェ思想の正当性と生命力は勤労人民大衆のすべての志向を反映しているところで現れています。偉大なチュチェ思想を学び、体得してより広く具現しよう、これが完全な独立をめざして闘うすべての国が掲げるべきスローガンであるといえます。

チュチェ思想が人民大衆の利益の擁護を第一の使命としていることをわれわれみんなはよく知っています。旧ソ連や他の国々が自主的理念と民族性を蔑ろにしたことから結局崩壊したという歴史的事実に照らしてみるとき、今日、チュチェ思想は自己の正当性をより明白に誇示しています。

われわれはチュチェ思想が自らの組織力と動員力を全世界に誇示した人民大衆の利益を擁護するための思想であることをはっきりと言いたいのです。その明白な実例が社会主義朝鮮の今日の誇らしい姿です。

今日、朝鮮民主主義人民共和国は敵対勢力の悪辣で卑劣な反人民的で反国家的策動を果敢に粉砕しながら科学と技術分野で驚くべき飛躍を起こしています。社会主義朝鮮のこうした目覚しい現実はわれわれにとって驚くべきことではありません。世界が直接目撃している社会主義朝鮮の現実を通じてわれわれは金正恩総書記が朝鮮民主主義人民共和国をもっとも正しい道へと導いていることをよく知ることができます。

チュチェ思想研究組織代表同志のみなさん、

ギニア民主党―アフリカ民主連合とギニア・チュチェ思想研究グループは金日成主席とアフメド・セク・トゥレ閣下の格別の関心によってギニアと朝鮮両国間に相互尊重の原則で結ばれた友好関係を大事にしています。

そういうことにより、われわれにとって本大会は両国間の友好関係をより厚くし、協力関係をより発展させる契機となるのです。

朝鮮民主主義人民共和国創建記念日を迎えながらわれわれは、あなたたちの側に立っていることを再確言しつつ、世界の進歩的諸国とチュチェ思想研究組織との友好協力関係をさらに強化発展させることにより帝国主義勢力を決定的に粉砕しようということをアピールします。

われわれはともに歩んできた長い歴史、共同で成果を収めていた時と困難であった時期を常に顧みなければなりません。

われわれはあらゆる敵対的な挑戦を粉砕し、協力と相互尊重の精神をもって未来を志向していかなければなりません。

人間の尊厳と持続的な発展のための闘争はわれわれの力を一つに結束することを要求しています。

チュチェ思想研究組織代表のみなさん、

われわれはチュチェ思想を信奉し、今後も支持するでしょう。

われわれは朝鮮人民とともにあり、正義かつ崇高な朝鮮人民の闘争に支持と支援を惜しまないでしょう。

闘う人民に栄光あれ！

チュチェ思想万歳！

朝鮮労働党万歳！

ギニア民主党・アフリカ民主連合万歳！

朝鮮民主主義人民共和国万歳！

ギニア共和国万歳！

実話

誰と先に姓名を名乗りあうか

リョム・ジョンシル

キューバの首都ハバナの中心に位置したあるホテルの広いホールは大変込んでいた。

国際民主女性連盟の書記局会議に参加するためにこの国を訪問する各国の代表団と代表が空港から入り始めたのである。

先に到着した代表団、新しく入っている代表団と代表が互いに呼び合いながら嬉しく挨拶を交わす。

ホールの片隅のソファーに座ってその姿をうらやましく見ているある女性代表がいた。彼女は連盟会議に初めて参加するある国の女性代表クングリである。

いつになったらわたしもあの人たちと懇意になれるのかしら？

彼女はまだ誰とも姓名を名乗っていなかったのである。

この時、かばんやトランクを提げてホールに入るアジア系の女性たちがいた。背が高くてすんなりとしたヨーロッパ系とおぼしき年配の女性と乙女のようにかわいい若い女性たちであった。

ホールは歓声の声でどよめいた。

「やあ！」

あっちこっちから代表団の団長が立ち上がって彼女たちのところへ行った。そして、年配の女性の手をとって有頂天になって喜んだ。おそらく、彼女が代表団の団長らしかった。

クングリはいぶかしそうに思った。

どの国の代表団だろう？

対面の喜びが高揚する中、誰かがその団長の手をとって座中の真ん中に座らせながら話すのだった。

「私がそのとき、貴国を訪問してからインターネットに記事を載せました。その記事を読みましたか。あ、そうだ、私のケイタイにその原文がありますよ。ちょっとご覧になったら」

そしてケイタイにあるその記事を見せる。

「明るい笑い声、美しい国、強い国、偉人をいただいて偉大である」

話題の中心となったその女性団長が携帯の記事の題目を母国語らしく流暢にスペイン語で読んだ。すると、またある女性代表がその団長のそばに来た。

「私もインターネットに載せたわ。何を載せたか見てご覧なさい。これは貴国を訪問したとき、劇場で芸術公演を観覧しながら撮った写真ですよ。その写真を全部載せたわ。世界中が貴国を知るようにしたかったんですよ」



また、そのそばで誰かが話す。

「あらまあ、産院で三つ子が退院する写真も載せたわ」



各自がその国に行って見たことを全部撮って自分なりの解釈を付けてインターネットに載せたというのである。



すると、その団長はさらに高い声で話した。

3.8 国際婦人デーに自国の指導者が化粧品を女性たちにプレゼントとして送ったとの話、勤勉な女性労働革新者たちが夫と一緒に芸術公演を観覧できるように劇場に招請してくれた

との話…

限りないそれらの話はすべてが女性たちの尊厳を尊重してくれる自国の指導者に対する誇らしい話ばかりであった。

（国際会議に到着するなり、脚光を浴びる朝鮮女性代表団こそは大国の代表団ですね）

翌日、朝鮮女性代表団と姓名を名乗りあいたくて彼女たちの部屋に行くクングリの手には親善と友情を象徴する芳しい花房がもたれていた。